TeraStation™

HS-DTGL シリーズ

ユーザーズマニュアル

本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

表記上の約束

注意マーク .... ⚠注意 に続く説明文は、製品の取り扱いにあたって特に注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク .... 次のページへ続く に続くページは、次にどこのページへ進めばよいかを記しています。

文中の用語表記

・Windows 搭載パソコンの場合、本書では次のようなドライブ構成を想定して説明しています。
　C：ハードディスク　　　　D：CD-ROM ドライブ
・本書では、Microsoft 社 Windows Millennium Edition を WindowsMe と表記しています。
・本書では、Microsoft 社 Windows98 Second Edition を Windows98SE と表記しています。
・本書では原則として HS-DTGL シリーズを TeraStation と表記しています。

■ 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。

■ 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■ 本製品は一般的なオフィスや家庭の OA 機器としてお使いください。万一、一般 OA 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。

・一般 OA 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときは、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

■ 本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。

■ 本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。

■ 本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。

■ 弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。

■ 本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

目次

1 はじめに

TeraStation を使用する前に知っておいていただきたいことを説明しています。

特長

● 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T ポートを搭載し、LAN に接続された複数台のパソコン (Macintosh にも対応) からアクセスが可能です。※ 1000BASE-T は全二重のみの対応です。

● TeraStation の共有フォルダごとにアクセス制限が可能です。

● TeraStation に 30 分アクセスがないときは、自動的に TeraStation 内のハードディスクの回転を停止します。アクセスがあれば自動的に回転を開始します。

● 前面および背面に USB コネクタ (USB2.0/1.1 シリーズ A) を搭載しています。
USB コネクタには、外付けハードディスクを増設して TeraStation の共有フォルダを増やしたり、プリンタを接続してネットワークプリンタとして使用することができます。

● 4 つのハードディスク使用モードで様々な用途に対応します。

通常モード
それぞれを 1 つのドライブとして認識、合計 4 つのドライブとして利用します。

スパニングモード
すべてを 1 つのドライブとして認識、大容量データも余裕で記録できます。

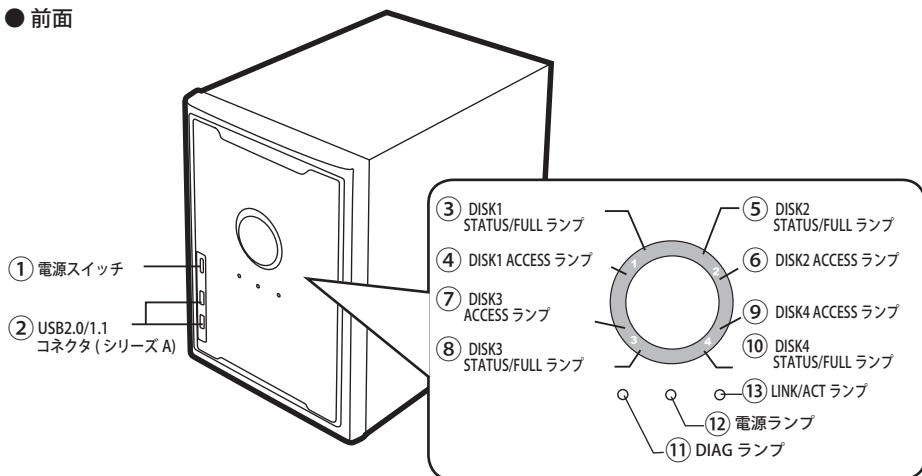
RAID1 モード
2 つのドライブとして認識、各ドライブ内でミラーリングして記録を保護します。
ハードディスクが 1 台故障しても、交換・復旧することができます。

RAID5 モード
1 つのドライブとして認識、データをパリティとともに分散して記録し、データを保護します。
ハードディスクが 1 台故障しても、交換・復旧することができます。

● 大容量電源により安定した電源供給。停電時などでも UPS(無停電電源装置) と併用すれば、安全にシャットダウンすることができます。

● 筐体内部の温度を監視してファンの回転数を自動制御しています。

各部の名称

● 前面

①電源スイッチ

電源 ON：電源スイッチを押します。
電源 OFF：電源スイッチを 3 秒間押し続けます。

② USB コネクタ (USB2.0/1.1 シリーズ A)

USB 接続外付けハードディスクやプリンタ、「Link de 録 !!」対応弊社製キャプチャ BOX を TeraStation に増設できます。
※上記以外の USB 機器 (USB ハブなど) の接続には対応しておりません。【P10】

③、⑤、⑧、⑩ DISK1 ～ 4 STATUS/FULL ランプ

消灯：ハードディスクが認識できていない
緑色点灯：ハードディスクを認識している
緑色点滅：フォーマット中、チェック中、リビルド中
赤色点灯：ハードディスクの空容量が 10% 以下
赤色点滅：ハードディスクの異常

④、⑥、⑦、⑨ DISK1 ～ 4 ACCESS ランプ

緑色点滅：ハードディスクアクセス時

メモ 起動時、STATUS/FULL ランプ、ACCESS ランプがルーレット状に点滅します。

⑪ DIAG ランプ

エラーが発生したとき赤色に点滅します。【P87】

メモ 初期化時、ファームウェアアップデート時は、電源ランプ、DIAG ランプが点滅します。

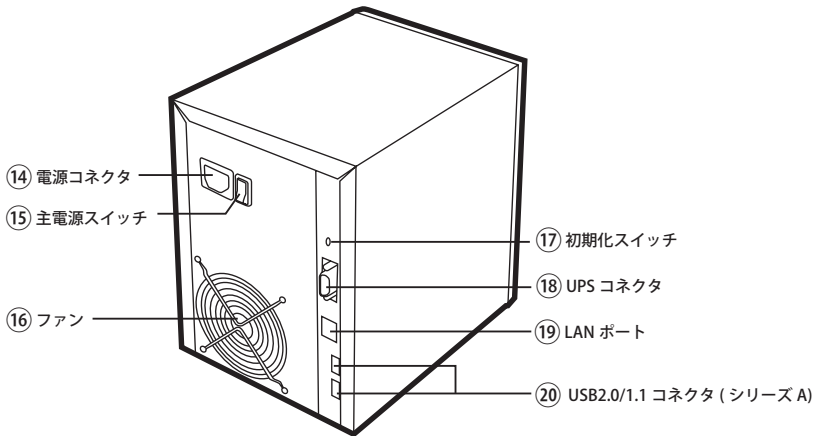
⑫電源ランプ

消灯：電源 OFF
緑色点灯：電源 ON
緑色点滅：起動中、終了中
ゆるやかに緑色点滅：スリープ時

⑬ LINK/ACT ランプ

青色に点灯 / 点滅：1000Mbps リンク時 / アクセス時
緑色に点灯 / 点滅：100Mbps リンク時 / アクセス時
赤色に点灯 / 点滅：10Mbps リンク時 / アクセス時

次のページへ続く

● 背面

⑭電源コネクタ

付属の電源ケーブルを接続します。

⑮主電源スイッチ

別紙「はじめにお読みください」に記載の簡単セットアップでセットアップ時に ON にします。セットアップ後本製品の電源 ON/OFF は前面の電源スイッチで行ってください。

⚠注意 主電源スイッチを OFF にした状態で長時間放置すると、TeraStation の時計が初期設定に戻ります。

⑯ファン

⚠注意 ファンを塞ぐような設置はしないでください。

⑰初期化スイッチ

TeraStation の設定を初期化します。(P67)

⑱ UPS コネクタ

UPS(無停電電源装置) を接続できます。

⑲ LAN ポート

付属の LAN ケーブルを接続します。

⑳ USB コネクタ (USB2.0/1.1 シリーズ A)

USB 接続外付けハードディスクやプリンタ、「Link de 録 !!」対応弊社製キャプチャ BOX を TeraStation に増設できます。

※上記以外の USB 機器 (USB ハブなど) の接続には対応しておりません。【P10】。

制限事項

メモ　ここに記載の制限事項は、TeraStation のファームウェアが最新版であることを前提にしています。最新のファームウェアは、弊社ホームページからダウンロードすることができます。

●Windows98SE/98/95、Mac OS(AppleTalk 接続時) では、OS の制限によって 2GB 以上のファイルをコピーすることはできません。

●WindowsMe では、OS の制限によって 4GB 以上のファイルをコピーすることはできません。

●全角文字（日本語など）のフォルダやファイル名を作成するときは、120 文字以内にしてください。120 文字を越える名前のフォルダやファイルは、コピー操作ができないことがあります。

●TeraStation のフォルダやファイルに属性（隠し / 読取専用）を設定することはできません。

●TeraStation 内蔵の時計は長期間使用すると時間がずれることがあります。ずれていたときは修正してください。また時刻は NTP 機能で自動的に修正することもできます。【P46】

●共有フォルダ名とワークグループ名に漢字を使用すると、使用した文字によっては共有フォルダやワークグループが正常に表示されないことがあります。そのようなときは漢字以外の文字をお使いください。

●本製品に登録するユーザ名およびグループ名に以下の文字は使用できません。
あらかじめご了承ください。
< 登録できないユーザ名、グループ名 >
root、bin、daemon、sys、adm、tty、disk、lp、sync、shutdown、halt、operator、nobody、mail、news、uucp、ftp、kmem、utmp、shadow、users、nogroup、all、none、hdusers、admin、guest

●本製品に登録する共有フォルダ名に以下の文字は使用できません。あらかじめご了承ください。
< 登録できない共有フォルダ名 >
info、spool、usbdisk1、usbdisk2、usbdisk3、usbdisk4、lost+found、
global、printers、homes、lp

●共有フォルダ名、ワークグループ名およびファイル名に次の文字を使用すると、TeraStation のデータにアクセスできない、ファイル操作が正常行えないことがあります (Macintosh では正常に表示されません)。そのようなときは他の文字をお使いください。
①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳ⅠⅡⅢⅣⅤⅥⅦⅧⅨⅩⅰⅱⅲⅳⅴⅵⅶⅷⅸⅹ㎜㎝㎞㎎㎏㏄㎡№
㍿℡㊤㊥㊦㊧㊨㈱㈲㈹㍾㍽㍼㍻㍉㌔㌢㍍㌘㌧㌃㌶㍑㍗㌍㌦㌣㌫㍊㌻¦'"〝〟∮∑∟⊿纊褜鍈銈蓜俉炻昱棈
鋹曻彅丨仡仼伀伃伹佖侒侊侚侔俍偀倢俿倞偆偰偂傔僴僘兊兤冝冾凬刕劜劦勀勛匀匇匤卲厓厲叝﨎咜咊咩哿喆
坙坥垬埈埇﨏塚增墲夋奓奛奝奣妤妺孖寀甯寘寬尞岦岺峵崧嵓﨑嵂嵭嶸嶹巐弡弴彧德忞恝悅悊惞惕愠惲愑愷愰
憘戓抦揵摠撝擎敎昀昕昻昉昮昞昤晥晗晙晴晳暙暠暲暿曺朎朗杦枻桒柀栁桄棏﨓楨﨔榘槢樰橫橆橳橾櫢櫤毖氿
汜沆汯泚洄涇浯涖涬淏淸淲淼渹湜渧渼溿澈澵濵瀅瀇瀨炅炫焏焄煜煆煇凞燁燾犱犾猤猪獷玽珉珖珣珒琇珵琦琪
琩琮瑢璉璟甁畯皂皜皞皛皦益睆劯砡硎硤硺礰礼神祥禔福禛竑竧靖竫箞精絈絜綷綠緖繒罇羡羽茁荢荿菇菶葈蒴
蕓蕙蕫﨟薰蘒﨡蠇裵訒訷詹誧誾諟諸諶譓譿賰賴贒赶﨣軏﨤逸遧郞都鄕鄧釚釗釞釭釮釤釥鈆鈐鈊鈺鉀鈼鉎鉙鉑
鈹鉧銧鉷鉸鋧鋗鋙鋐﨧鋕鋠鋓錥錡鋻﨨錞鋿錝錂鍰鍗鎤鏆鏞鏸鐱鑅鑈閒隆﨩隝隯霳霻靃靍靏靑靕顗顥飯飼餧館
馞驎髙髜魵魲鮏鮱鮻鰀鵰鵫鶴鸙黑畩秕緇臂蘊訃躱鐓饐鷀

●Macintosh と Windows でデータを共有する場合、上記の文字をファイル名・フォルダ名に使用すると正常に表示されません (Windows ←→ Windows 間では正常に表示されます)。

●Macintosh で作成したファイル名に下記の記号が含まれると、Windows からは OS の制限により正常に表示できません。また Mac OS X(10.2 以降) では、AppleTalk を使用せずに smb を指定して接続する時に下記の記号を使用すると、ファイルをコピーできません（または正常に表示できません)。
? [ ] / \ = + < > ; : ” , | *

次のページへ続く

- TeraStation に登録するユーザのユーザパスワードは、Windows98SE/98/95 をお使いの方は半角英数 15 文字以上にしないでください。Mac OS をお使いの方は半角英数 9 文字以上にしないでください。TeraStation の共有フォルダにアクセスできなくなります。
- TeraStation へのファイルコピーは、ジャーナリングファイルシステムにより保護されますが、コピー中にキャンセルしたり、コピーを途中で終了 (LAN ケーブルが抜けた、停電など) すると次の現象が発生することがあります。
  - ・設定したデータ (TeraStation の名称、ユーザ、グループ) が消えてしまうことがあります。
  - ・「HDD エラー」と表示され、TeraStation にアクセスできなくなることがあります。
    その場合は、画面の指示に従って、「再起動 (TeraStation)」「HDD 情報の再構成」「HDD のフォーマット」の処理を行ってください。
  - ・不完全なファイルがコピーされ、ファイルが削除できなくなることがあります。
    その場合は、TeraStation を再起動してからファイルを削除し、コピー操作をもう一度行ってください。
- TeraStation のハードディスクをフォーマットしても、設定画面での [HDD 使用率] および [HDD 使用量] は 0 にはなりません。これはシステム領域として使用しているためです。
- Windows のネットワークログイン時のユーザ名、パスワードを TeraStation と同じユーザ名、パスワードにしてください。異なる場合、TeraStation のアクセス制限を設けた共有フォルダにアクセスできないことがあります。
- TeraStation 内ハードディスク、および TeraStation に接続した USB ハードディスク内へのファイルのコピーや、上記ハードディスク内での上書き保存、ファイルを開く、閉じる等の操作を行ったとき、ファイルの日付情報は全て更新されることがあります（作成日時、更新アクセスなどの日付情報は保持されません）。
- ハードディスクの容量をブラウザから確認したときと、Windows のドライブのプロパティから確認したときで、値は大きく異なります。
- WindowsMe/98SE/98/95 では、OS の仕様によりファミリーログオン時にフォルダの共有ができません。ファミリーログオンではなく、Windows ネットワークログオンからログオンしてください。
- TeraStation に出荷時設定されている guest アカウントを WindowsXP/2000 のログイン時に使用した場合、アクセス制限が正常に動作しない場合があります。
- TeraStation のバックアップタイマー機能とスリープタイマー機能は同時に設定することはできません。これらの機能を使用するときはどちらか片方のみを設定ください。
- FTP クライアントソフトウェアでファイルやディレクトリの属性 (読取 / 書込 / 実行など) を変更することはできません。読取専用にしたいときは、P59、72 に記載の手順でおこなってください。
- FTP で接続した場合、グループ単位でアクセス制限かけた共有フォルダにはアクセスできません。
- Jumbo Frame(4100bytes/7418bytes) を使用して、TeraStation にスイッチングハブを接続する場合、Jumbo Frame 非対応のスイッチングハブは使用しないでください。使用するとデータの転送ができなくなります。【P75】
- P69 の手順で TeraStation のデータを別の TeraStation にバックアップするときは、バックアップ元 TeraStation とバックアップ先 TeraStation のイーサネットフレームサイズを同じ値に設定してください。【P47】イーサネットフレームサイズが異なる場合、正常にバックアップできないことがあります。
- スリープ設定を行うとバックアップタイマー設定は全て無効になります (既に実行中のバックアップがあった場合、そのバックアップは完了するまで行われます)。

次のページへ続く

●バックアップの設定後にフォーマットや RAID アレイの設定を変更したときは､必ずバックアップの設定も変更してください。バックアップ元の共有フォルダが存在しない場合、エラーが表示されます。

●Mac OS X(10.2 以降) で AppleTalk を使用せずに smb を指定して接続する場合、全角文字（日本語など）のファイル名やフォルダ名を使用しないでください。ファイル名やフォルダ名が正常に表示されません。【P20、24】

● Mac OS 9、MacX(AppleTalk 接続) では、拡張子を含めてファイル名が日本語 (全角文字)16 文字 (半角英数の場合 32 文字) 以上のファイルを、TeraStation への新規作成、コピーしても表示させることができません。

●Macintosh からアクセスされた共有フォルダには、Macintosh 用の情報ファイルが自動生成されることがあります。これらを Windows から削除した場合、Macintosh からアクセスできなくなることがありますので削除はしないでください。

●Macintosh ユーザや FTP ユーザに対してアクセス制限を設定するときは、ユーザ単位で行ってください【P61】。グループ単位で設定すると、アクセス制限した共有フォルダにアクセスできないことがあります。

●次の条件で使用した場合、Macintosh では 2GB 以上のファイルは表示されません。
・Mac OS 8.6、Mac OS 9、Mac OS X(10.1.5 以前) を使用している
・Mac OS X(10.2 以降) で afp を指定して接続している (AppleTalk 接続)【P19、23】

●Macintosh で TeraStation のファームウェアをアップデートすることはできません。アップデートする際は、Windows 搭載パソコンにて行ってください。

●TeraStation は、AppleShareServer が指定するデフォルトゾーンに属します。ゾーンを指定することはできません。

●Mac OS X で FTP を使用するとき､Mac OS 9 以前の Mac OS や Windows と日本語のファイル / フォルダの共有はできません。日本語ファイル / フォルダの共有をしたいときは FTP ではなく、afp を指定して接続 (AppleTalk 接続) してください。【P19、23】

次のページへ続く

<< TeraStation の USB コネクタに関する制限 >>

●ハードディスクやプリンタ、「Link de 録 !!」対応弊社製 USB キャプチャ BOX 以外の USB 機器 (USB ハブ、CD/DVD ドライブ、MO ドライブ、フラッシュメモリ、カードリーダ、マウス、キーボードなど) を接続して使用することはできません。

●USB 機器のホットプラグ・アンプラグには非対応です。USB ケーブルを抜き差しするときは、TeraStation の電源を OFF にしてから行ってください。

●TeraStation の USB コネクタに接続して使用できるハードディスクは 4 台までです。
弊社製ハードディスク以外のハードディスクは対応しておりません (弊社製 DIU/DUB シリーズは非対応)。

※ AUTO 電源機能を搭載したハードディスクを TeraStation に接続しても認識できないときは、「AUTO 電源機能切替スイッチ」を「MANUAL」に設定してください。

※ TeraStation に HD-DU2 シリーズを接続して使用すると、HD-DU2 シリーズのダイレクトコピー機能を使用できません。ダイレクトコピー機能を使用したいときは、HD-DU2 シリーズをパソコンに接続し、HD-DU2 シリーズ付属のフォーマッタでフォーマットしてください。

●USB コネクタに接続したハードディスクは、第 1 パーティション (領域) のみ認識されます。第 2 パーティション以降は認識できません。

●TeraStation の USB コネクタに接続したハードディスクが FAT16/32 形式でフォーマットされている場合、次の制限があります。

・共有フォルダとして割り当ててデータを書き込むことはできません。TeraStation のバックアップ先 (P69) としてお使いください。

・FAT32 形式では 1 ファイル 4GB 以上のデータ (FAT16 形式では 2GB 以上のデータ) はバックアップできません (エラーが発生し、バックアップが途中で停止することがあります)。

・MacOS X で自動生成されたファイル (.DS_Store など) がある場合は、ファイル名に FAT32/16 形式では使用できない文字が含まれているためバックアップできません (エラーが発生し、バックアップが途中で停止することがあります)。

●TeraStation の USB コネクタに接続して使用できるプリンタは 1 台までです。

●以下のプリンタは TeraStation の USB コネクタに接続して使用することはできません。
・WPS(Windows Printing System) プリンタ
・双方向通信のみ対応のプリンタ (TeraStation は双方向通信に対応しておりません)
※使用するプリンタの双方向通信は必ず無効にしてください。【P96】
プリンタによっては双方向通信を無効にすると印刷時にエラーが表示されることがありますが印刷はできます。また双方向通信に対応していないので、インク残量などのプリンタのステータスは取得できません。

●複合機能搭載プリンタを接続した場合、プリンタ機能のみ使用できます。その他の機能 (スキャナ、カードリーダ、FAX など) を使用することはできません。

●Macintosh では本製品にプリンタを接続しても印刷することはできません。

●USB ハードディスク (FAT32 形式) に上書き差分バックアップした場合、差分がなくても上書きバックアップが実行されることがあります。これは FAT32 の仕様によるもので、ファイル作成日の秒数が奇数のファイルは、差分の有無にかかわらず毎回上書きバックアップされます。

<<UPS に関する制限 >>

●TeraStation が起動して 10 秒経過するまで UPS から停電信号を受け取れません (起動後 10 秒以内に停電が発生したときはシャットダウンできません)。

2 セットアップ(基本編)

TeraStation のセットアップ手順を説明しています。

WindowsXP/2000/Me/98SE/98 でのセットアップ手順

パソコンの電源スイッチを ON にする

付属のユーティリティ CD(CD-ROM) を CD-ROM ドライブにセットする

「簡単セットアップ」が起動したら、画面の指示に従って操作する
【別紙「はじめにお読みください」】

⚠注意
- LAN ケーブル、電源ケーブルは簡単セットアップ画面の表示に従って接続します。簡単セットアップを起動する前に接続しないでください。
- TeraStationのセットアップは、WindowsXP/2000/Me/98SE/98搭載パソコン1台から、簡単セットアップを実行することにより完了します。【別紙「はじめにお読みください」】

メモ
- 簡単セットアップは自動的に TeraStation の共有フォルダをネットワークドライブとして割り当て、[マイコンピュータ] の中にアイコンを追加します。他のパソコンから TeraStation の共有フォルダに読み出し / 書き込みをするには、P25 の手順でネットワークドライブの割り当てをしてください。
- ネットワーク内に DHCP サーバが存在する場合、TeraStation はネットワークに接続するだけで DHCP クライアントとして動作します。
- 簡単セットアップを実行すると、使用されていない IP アドレスを自動的に TeraStation に割り当てます。
  簡単セットアップを実行しないと、TeraStation は出荷時設定の固定 IP アドレスで動作します。【P76】
- 簡単セットアップで自動設定できるのは 1 台につき 1 回までです。再度簡単セットアップで自動設定したいときは、P67 を参照して TeraStation の設定を初期化してから行ってください。
- CyberTrio-NX がインストールされている PC98-NX シリーズでは、CyberTrio-NX をアドバンストモード以外のモードで使用していると、Windows の設定が変更できないことがあります。パソコン本体のマニュアルを参照して必ずアドバンストモードに変更してください。

Windows95/NT4.0、Mac OS でのセットアップ手順

あらかじめ、WindowsXP/2000/Me/98SE/98 搭載パソコンで付属のユーティリティCD(簡単セットアップ) より本製品のセットアップを済ませておいてください。【P11】
※Windows95/NT4.0、Mac OS では、簡単セットアップでセットアップすることができません。

パソコンをネットワークに接続します。
接続の手順は、パソコンおよびネットワークインターフェースのマニュアルを参照してください。

Windows95/NT4.0：ネットワークドライブの割り当てを行います。【P26】
Mac OS：ネットワークドライブのマウントを行います。【P14】

クライアントユーティリティについて

クライアントユーティリティを使えば、簡単に TeraStation のハードディスクの容量を知ることができます。

WindowsXP/2000/Me/98SE/98/NT4.0/95 では、簡単セットアップで「クライアントユーティリティのインストール」を選択して、[開始] をクリックするとクライアントユーティリティがインストールされます。Mac OS ではインストールすることはできません。

起動方法：[スタート]-[(すべての) プログラム]-[BUFFALO]-[TeraStation]-[クライアントユーティリティ] をクリックします。

使い方：

[設定] から TeraStation 設定画面を表示 (P43) させたり、IP アドレスを変更 (P29) させることができます。

TeraStation の名称、グループ、ハードディスクの容量、IP アドレス、サブネットマスク、ファームウェアバージョンが表示されています。

クリックすると TeraStation を再検索します。

クリックすると TeraStation の共有フォルダを表示します。

メモ 表示の容量は、1kbytes=1024bytes で計算しています。

TeraStation の内蔵ハードディスク内にある **[Info]-[Japanese]-[TsClient]** フォルダの中には、クライアントユーティリティが収録されています。ユーティリティ CD が無くても実行またはインストールすることができます。

TsClient.exe	ダブルクリックすると直接クライアントユーティリティを実行することができます。
Setup.exe	クライアントユーティリティをインストールすることができます。

蔵衛門デジブック PLUS について

付属の蔵衛門デジブック PLUS を使えば、デジタルカメラなどで撮影した画像データから、簡単にオリジナルのアルバムを作成することができます。

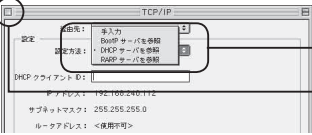
WindowsXP/2000/Me/98SE/98 では、簡単セットアップで「蔵衛門デジブック PLUS のインストール」を選択して、[開始] をクリックすると蔵衛門デジブック PLUS がインストールされます。Windows95/NT4.0、Mac OS ではインストールすることはできません。

起動方法：[スタート]-[(すべての) プログラム]-[蔵衛門デジブック PLUS]-[蔵衛門デジブック PLUS] をクリックします。

使いかた：
インストール後、蔵衛門デジブック PLUS のヘルプを参照してください。
ヘルプは、[スタート]-[(すべての) プログラム]-[蔵衛門デジブック PLUS]-[蔵衛門デジブック PLUS ヘルプ] で表示されます。

お問い合わせ先：
蔵衛門デジブック PLUS のサポートは株式会社トリワークスでおこないます (蔵衛門デジブック PLUS のオンラインユーザー登録された方を対象)。
お問い合わせ先については、別紙「はじめにお読みください」を参照してください。

※株式会社バッファローでは、蔵衛門デジブック PLUS に関するお問い合わせは承っておりません。あらかじめご了承ください。

ネットワークドライブのマウント

Mac OS 8.6 ～ 9.2.2

⚠注意 Macintosh でドライブをマウントする前に、あらかじめ Windows 搭載パソコンから簡単セットアップを実行して TeraStation のセットアップを済ませておいてください。その際に、TeraStation の IP アドレスをメモしてください。

1 アップルメニューから、[コントロールパネル]-[AppleTalk] をクリックします。

2

① [Ethernet] をクリックします。

②クリックします。

メモ 「・・・保存しますか？」と表示されたときは、[保存] をクリックします。

3 アップルメニューから、[コントロールパネル]-[TCP/IP] をクリックします。

4

① [DHCP サーバーを参照] をクリックします。

②クリックします。

メモ 「・・・保存しますか？」と表示されたときは、[保存] をクリックします。

お使いのネットワークに DHCP サーバが無いときは、[設定方法] から [手入力] を選択し、IP アドレス、サブネットマスクなどの各値を入力してください。

例) IP アドレス：169.254.11.151　サブネットマスク：255.255.0.0

5 アップルメニューから [セレクタ] をクリックします。

次のページへ続く

6

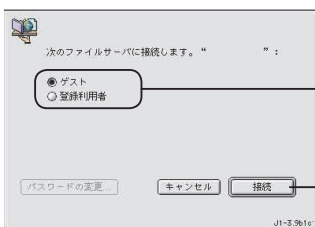
① [AppleShare] をクリックします。

② [ファイルサーバの選択] から TeraStation 名を選択し、[OK] をクリックします。

メモ TeraStation 名は、「HS-DTGLxxx」と表示されます。下線部は TeraStation の MAC アドレス末尾 3 桁です。お使いの製品によって異なります。

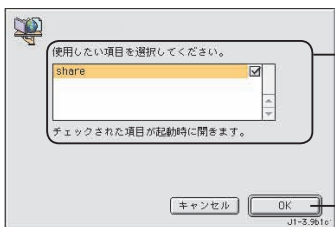
ドライブ名が表示されないときは、[サーバの IP アドレス] をクリックし、TeraStation の IP アドレスを入力してください。

※ [AppleTalk] は、必ず [使用] を選択してください。

7

① [ゲスト] をクリックします。

② [接続] をクリックします。

メモ Windows 搭載パソコンでセットアップした際に、TeraStation の共有フォルダにアクセス権限を設定した方は、[登録利用者] を選択し、名前とパスワードを入力し、[接続] をクリックしてください。

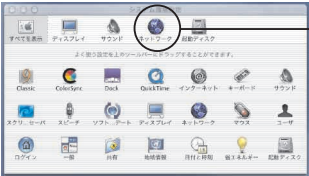
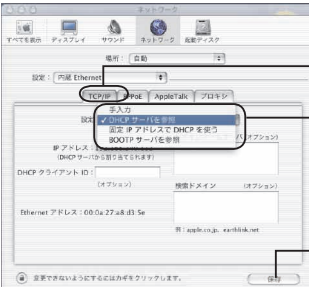
8

① TeraStation の共有フォルダを選択します。

注意 選択する場合、1 個の共有フォルダだけを選択してください。2 個以上選択すると起動時にマウントできないことがあります。

② [OK] をクリックします。

メモ 共有フォルダの右にあるチェックボックスをクリックして、チェックマークを表示させておくと、次回 Macintosh を起動したときに、自動的に TeraStation の共有フォルダをマウントします。

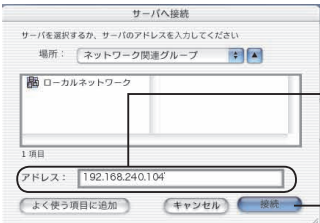
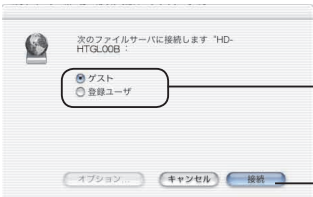
9 マウントされるとデスクトップ画面に右のアイコンが表示されます。

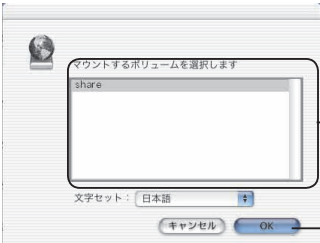
表示される文字は共有フォルダ名が表示されます。設定しているフォルダ名によって文字は異なります。

メモ アンマウントするには、アイコンをゴミ箱へドラッグ & ドロップしてください。

Mac OS X(10.0.4 ～ 10.1.5)

⚠注意 Macintosh でドライブをマウントする前に、あらかじめ Windows 搭載パソコンから簡単セットアップを実行して TeraStation のセットアップを済ませておいてください。その際に、TeraStation の IP アドレスをメモしてください。

1 アップルメニューから、[システム環境設定 ...] をクリックします。

2
[ネットワーク] アイコンをクリックします。

3
[内蔵 Ethernet] を選択します。

4
① [TCP/IP] タブをクリックします。
② [DHCP サーバを参照] をクリックします。
③ [保存] をクリックします。

お使いのネットワークに DHCP サーバが無いときは、[設定方法] から [手入力] を選択し、IP アドレス、サブネットマスクなどの各値を入力してください。

例) IP アドレス：169.254.11.151　サブネットマスク：255.255.0.0

次のページへ続く

5 ファインダーを選択して、ファインダーのメニューから、[移動]-[サーバへ接続 ...] をクリックします。

6

TeraStation の IP アドレスを入力します。

メモ TeraStation の IP アドレスは、Windows 搭載パソコンでご確認ください。

[接続] をクリックします。

7

① [ゲスト] をクリックします。

② [接続] をクリックします。

メモ Windows 搭載パソコンでセットアップした際に、TeraStation の共有フォルダにアクセス権限を設定した方は、[登録ユーザ] を選択し、名前とパスワードを入力し、[接続] をクリックしてください。

8

① TeraStation の共有フォルダをクリックします。

② [OK] をクリックします。

9 マウントされるとデスクトップ画面に右のアイコンが表示されます。

表示される文字は共有フォルダ名が表示されます。設定しているフォルダ名によって文字は異なります。

メモ アンマウントするには、アイコンをゴミ箱へドラッグ & ドロップしてください。

Mac OS X(10.2 ～ 10.2.8)

⚠注意 Macintosh でドライブをマウントする前に、あらかじめ Windows 搭載パソコンから簡単セットアップを実行して TeraStation のセットアップを済ませておいてください。その際に、TeraStation の IP アドレスをメモしてください。

1 アップルメニューから、[システム環境設定 ...] をクリックします。

2

3

4

お使いのネットワークに DHCP サーバが無いときは、[設定] から [手入力] を選択し、IP アドレス、サブネットマスクなどの各値を入力してください。

例) IP アドレス：169.254.11.151　サブネットマスク：255.255.0.0

次のページへ続く

TeraStation の Macintosh 用共有フォルダにアクセスする場合

5a

① [AppleTalk] タブをクリックします。

② [AppleTalk 使用] をクリックします。

③ [今すぐ適用] をクリックします。

6a ファインダーを選択して、ファインダーのメニューから、[移動]-[サーバへ接続 ...] をクリックします。

7a

「afp://TeraStation の IP アドレス」を入力します。
(例 afp://169.254.11.150)

⚠注意 afp を指定して接続することによって Macintosh 用共有フォルダにアクセスできるようになります。この際、2GB 以上のファイルは見ることができません。ご注意ください。

[接続] をクリックします。

8a

① [ゲスト] をクリックします。

② [接続] をクリックします。

メモ Windows 搭載パソコンでセットアップした際に、TeraStation の共有フォルダにアクセス権限を設定した方は、[登録ユーザ] を選択し、名前とパスワードを入力し、[接続] をクリックしてください。

次のページへ続く

9a

10a マウントされるとデスクトップ画面に右のアイコンが表示されます。

表示される文字は共有フォルダ名が表示されます。設定しているフォルダ名によって文字は異なります。

メモ アンマウントするには、アイコンをゴミ箱へドラッグ & ドロップしてください。

TeraStation の Windows 用共有フォルダにアクセスする場合

5b ファインダーを選択して、ファインダーのメニューから、[移動]-[サーバへ接続 ...] をクリックします。

6b

7b

次のページへ続く

8b

① [ユーザ名]、[パスワード] を空欄のままにします。

メモ Windows 搭載パソコンでセットアップした際に、TeraStation の共有フォルダにアクセス権限を設定した方は、ユーザ名とパスワードを入力し、[OK] をクリックしてください。

② [OK] をクリックします。

9b マウントされるとデスクトップ画面に右のアイコンが表示されます。

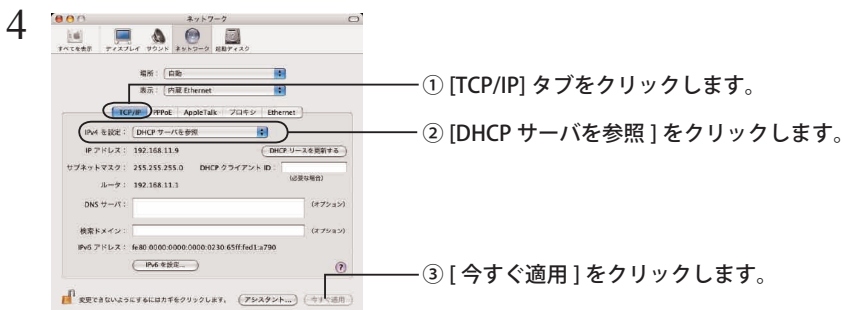
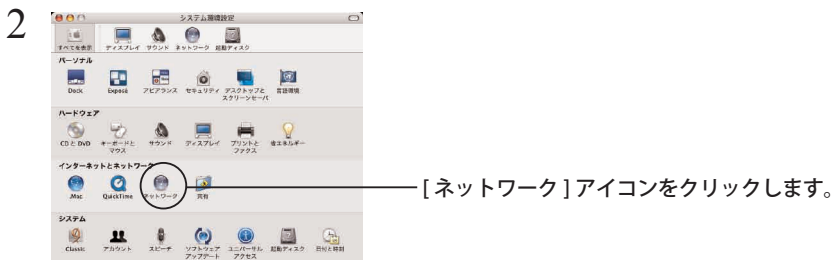
表示される文字は共有フォルダ名が表示されます。設定しているフォルダ名によって文字は異なります。

メモ アンマウントするには､アイコンをゴミ箱へドラッグ & ドロップしてください。

Mac OS X(10.3 ～ 10.4)

⚠注意 Macintosh でドライブをマウントする前に、あらかじめ Windows 搭載パソコンから簡単セットアップを実行して TeraStation のセットアップを済ませておいてください。その際に、TeraStation の IP アドレスをメモしてください。

メモ 画面は Mac OS X 10.3 の例です。Mac OS 10.4 をお使いの場合、一部画面が異なります。

1 アップルメニューから、[システム環境設定 ...] をクリックします。

2

[ネットワーク] アイコンをクリックします。

3

[内蔵 Ethernet] を選択します。

4

お使いのネットワークに DHCP サーバが無いときは、[設定] から [手入力] を選択し、IP アドレス、サブネットマスクなどの各値を入力してください。

例) IP アドレス：169.254.11.151　サブネットマスク：255.255.0.0

次のページへ続く

TeraStation の Macintosh 用共有フォルダにアクセスする場合

5a

① [AppleTalk] タブをクリックします。

② [AppleTalk 使用] をクリックします。

③ [今すぐ適用] をクリックします。

6a ファインダーを選択して、ファインダーのメニューから、[移動]-[サーバへ接続 ...] をクリックします。

7a

「afp://TeraStation の IP アドレス」を入力します。
(例 afp://169.254.11.150)

⚠注意 afp を指定して接続することによって Macintosh 用共有フォルダにアクセスできるようになります。この際、2GB 以上のファイルは見ることができません。ご注意ください。

[接続] をクリックします。

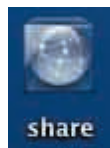
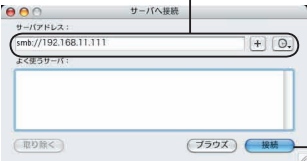
8a

① [ゲスト] をクリックします。

② [接続] をクリックします。

メモ Windows 搭載パソコンでセットアップした際に、TeraStation の共有フォルダにアクセス権限を設定した方は、[登録ユーザ] を選択し、名前とパスワードを入力し、[接続] をクリックしてください。

9a TeraStation の共有フォルダを選択し、[OK] をクリックします。

10a マウントされるとデスクトップ画面に右のアイコンが表示されます。表示される文字は共有フォルダ名が表示されます。設定しているフォルダ名によって文字は異なります。

メモ アンマウントするには、アイコンをゴミ箱へドラッグ & ドロップしてください。

次のページへ続く

TeraStation の Windows 用共有フォルダにアクセスする場合

5b ファインダーを選択して、ファインダーのメニューから、[移動]-[サーバへ接続 ...] をクリックします。

6b

「smb://TeraStation の IP アドレス」を入力します。(例 smb://169.254.11.150)

⚠注意 smb を指定して接続することによって Windows 用共有フォルダにアクセスできるようになります。この際、全角文字 (日本語など) のファイル名やフォルダ名は正常に表示されません。ご注意ください。

[接続] をクリックします。

7b TeraStation の共有フォルダを選択し、[OK] をクリックします。

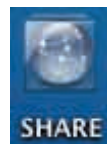
8b

① [ユーザ名]、[パスワード] を空欄のままにします。

メモ Windows 搭載パソコンでセットアップした際に、TeraStation の共有フォルダにアクセス権限を設定した方は、ユーザ名とパスワードを入力し、[OK] をクリックしてください。

② [OK] をクリックします。

9b マウントされるとデスクトップ画面に右のアイコンが表示されます。

表示される文字は共有フォルダ名が表示されます。設定しているフォルダ名によって文字は異なります。

メモ アンマウントするには、アイコンをゴミ箱へドラッグ & ドロップしてください。

3 セットアップ(応用編)

ネットワークドライブの割り当て、IP アドレス変更、TeraStation の複数台増設などを説明しています。

ネットワークドライブの割り当て

設定を行うパソコンでは、簡単セットアップを使用すれば自動的にネットワークドライブが割り当てられ、マイコンピュータの中に TeraStation のネットワークドライブのアイコンが追加されています。
設定を行うパソコン以外で使用するには、以下の手順でネットワークドライブを割り当ててお使いください。

WindowsXP

1 [スタート]-[マイ コンピュータ] をクリックします。

2

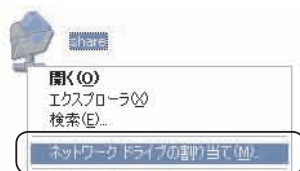
[マイ ネットワーク] をクリックします。

3 [TeraStation] アイコンをダブルクリックします。

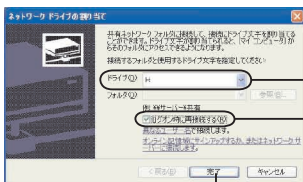
メモ 上記のアイコンが無いときは、次の手順を行ってください。

1 [ワークグループのコンピュータを表示する] をクリックします。
2 [Microsoft Windows Network] アイコンをクリックします。
3 TeraStation があるワークグループ (例:WORKGROUP) のアイコンをクリックします。
※ワークグループの名称は TeraStation の設定によって異なります。初期設定では、設定を行うパソコンが所属しているワークグループ名称です。
4 [TeraStation] アイコンをダブルクリックし、手順 4 以降に従ってください。

次のページへ続く

4

①TeraStation 内の共有フォルダのアイコンを右クリックします。

②[ネットワーク ドライブの割り当て] をクリックします。

5

①ドライブ名を選択します。

②[ログオン時に再接続する] のチェックボックスをクリックし、チェックマークを入れます。

③[完了] をクリックします。

6 [マイ コンピュータ] の中に、TeraStation のネットワークドライブのアイコンが追加されています。他のハードディスクと同様の操作でネットワークドライブを使用できます。

⚠注意 パソコン起動時に、TeraStation がネットワークに接続されていなかったり、電源が OFF の状態になっているときは、「ネットワークパスが見つかりません。この接続は復元されませんでした」と表示されます。

WindowsMe/98SE/98/95/NT4.0

1 デスクトップ画面の [マイ ネットワーク (ネットワークコンピュータ)] アイコンをダブルクリックします。

2 [ネットワーク全体] アイコンをダブルクリックします。

WindowsMe をお使いの場合は、[このフォルダの内容をすべて表示する] をクリックしてください。

3 TeraStation があるワークグループのアイコンをダブルクリックします。

メモ ワークグループ名称は TeraStation 設定によって異なります。初期設定では、設定を行うパソコンが所属しているワークグループ名称です。

4 [HS-DTGLxxx] アイコンをダブルクリックします。

下線部は TeraStation の MAC アドレス末尾 3 桁です。お使いの製品によって異なります。

次のページへ続く

5

①TeraStation 内の共有フォルダのアイコンを右クリックします。

②[ネットワーク ドライブの割り当て] をクリックします。

※画面は WindowsMe の例です。

6

①ドライブ名を選択します。

②[OK] をクリックします。

※[ログオン時に再接続] のチェックボックスをクリックし、チェックマークを入れます。

7 [マイ コンピュータ] の中に、TeraStation のネットワークドライブのアイコンが追加されています。他のハードディスクと同様の操作でネットワークドライブを使用できます。

⚠注意 パソコン起動時に、TeraStation がネットワークに接続されていなかったり、電源が OFF の状態になっているときは、「接続中に次のエラーが発生しました。常設の接続は利用できません。」と表示されます。

Windows2000

1 デスクトップ画面の [マイ ネットワーク] アイコンをダブルクリックします。

2 [ネットワーク全体] アイコンをダブルクリックします。

3 [ネットワークの全内容を表示することもできます。] をクリックします。

4 [Microsoft Windows Network] アイコンをダブルクリックします。

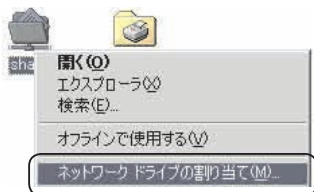
5 TeraStation があるワークグループのアイコンをダブルクリックします。

メモ ワークグループ名称は TeraStation 設定によって異なります。初期設定では、設定を行うパソコンが所属しているワークグループ名称です。

6 [HS-DTGLxxx] アイコンをダブルクリックします。

下線部は TeraStation の MAC アドレス末尾 3 桁です。お使いの製品によって異なります。

次のページへ続く

7

①TeraStation 内の共有フォルダのアイコンを右クリックします。

②[ネットワーク ドライブの割り当て] をクリックします。

8

① ドライブ名を選択します。

②[ログオン時に再接続] のチェックボックスをクリックし、チェックマークを入れます。

③[完了] をクリックします。

9 [マイ コンピュータ] の中に、TeraStation のネットワークドライブのアイコンが追加されています。他のハードディスクと同様の操作でネットワークドライブを使用できます。

⚠注意 パソコン起動時に、TeraStation がネットワークに接続されていなかったり、電源が OFF の状態になっているときは、「再接続するときにエラーが発生しました。(中略) この接続は復元されませんでした。」と表示されます。

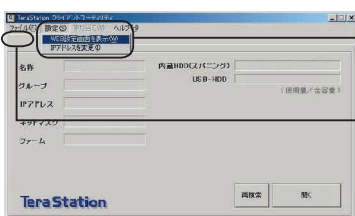
TeraStation の IP アドレスを変更したいとき

TeraStation と他のネットワーク製品の IP アドレスが競合している場合、TeraStatin の IP アドレスを変更しないと使用できません。
TeraStation の IP アドレスの変更には、付属のクライアントユーティリティをお使いください。

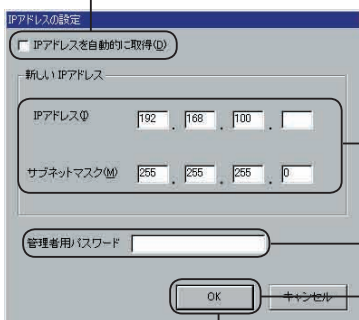
1 [スタート]-[(すべての) プログラム]-[BUFFALO]-[TeraStation]-[クライアントユーティリティ] をクリックします。

クライアントユーティリティが起動します。

2

[設定]-[IP アドレスを変更] をクリックします。

※ TeraStation が 2 台以上接続されているときは、タブが複数表示されます。IP アドレスを変更したい TeraStation を選択してください。

3

※ チェックを入れると IP アドレスを DHCP サーバから再度自動的に割り当てられるようにします。ネットワーク内に DHCP サーバが無いときは、この機能は使用できません。

変更したい IP アドレス、サブネットマスクを入力します。

※ ブラウザからの TeraStation の設定画面でパスワードを設定したときに、同じパスワードをこちらへ入力しないと IP アドレスは変更できません。

[OK] をクリックします。

以上で IP アドレスの変更は完了です。

2 台以上 TeraStation を増設したいとき

付属のユーティリティ CD で、簡単セットアップを追加した TeraStation の台数と同じ回数実行してください。

⚠注意 ネットワーク内に DHCP サーバが存在しないときは、簡単セットアップを実行しないと TeraStation の IP アドレスが全て出荷時設定 (P76) になっています。このままでは TeraStation 同士で IP アドレスが競合してしまい使用できません。簡単セットアップを TeraStation の台数と同じ回数実行するか、P29 を参照して重複しないよう IP アドレスを変更してください。

ハードディスクの使用モードを変更したいとき

出荷時設定では、使用モードは RAID5 モードとなっています。RAID1 モード、スパニングモード、通常モードで使用したいときは次の手順でモードを変更してください。

⚠注意 ハードディスクの使用モードを変更すると、ハードディスク内のデータは全て消去されます。変更するまえに大切なデータがを失うこことがないよう必ずバックアップをとってください。

● RAID5 モード
TeraStation に内蔵されている 4 台のハードディスクを 1 台のドライブとして使用したいときに設定してください。RAID5 では、万が一ハードディスクが 1 台故障しても新しいハードディスクに交換してデータを復旧することができます (2 台以上故障したときは復旧できません)。また RAID 構築中は STATUS/FULL ランプが、緑色に点滅しファイル転送速度が数時間低下します。あらかじめご了承ください。

● RAID1 モード
TeraStation に内蔵されている 4 台のハードディスクを 2 台のドライブとして使用したいときに設定してください。RAID1 では、2 台のハードディスクをペアにして、それぞれのハードディスクに同じデータを書き込みます。万が一、片方のハードディスクに障害が発生した場合でも、データの消失を防ぐことができます。ただし、さらに残りのハードディスクに障害が発生した場合は、全てのデータを失いますので、障害が発生したハードディスクはすみやかに交換してください。また RAID 構築中は STATUS/FULL ランプが、緑色に繰り返し点滅しファイル転送速度が数時間低下します。あらかじめご了承ください。

●スパニングモード
TeraStation に内蔵されている 4 台のハードディスクを 1 台のドライブとして使用したいときに設定してください。

⚠注意 スパニングモードでは、ハードディスクが 1 台でも故障するとデータを全て失います。復旧することはできません。

●通常モード
TeraStation に内蔵されている 4 台のハードディスクを 4 台のドライブとして使用したいときに設定してください。

⚠注意 通常モードでは、ハードディスクが故障するとそのハードディスク内のデータを全て失います。復旧することはできません。

メモ 本書では、「復旧」とは、TeraStation 内の状態 (データを含む) を故障が発生する前に戻すことを表しています。故障したハードディスクからデータを読み出すことではありません。

通常モードで使用する

1 P43 の手順で設定画面を表示します。

2 [ディスク管理]-[RAID 設定] をクリックします。

3 設定したいアレイをクリックします。

4 [RAID アレイの削除] をクリックします。

5 [通信の確認] 画面が表示されます。
60 秒以内に確認番号欄に表示されている数字を正確に入力し、[設定] をクリックします。

6 以降は画面の指示にしたがって操作します。

メモ RAID 設定変更中は DIAG ランプが 1 秒間隔で点滅します。

以上で通常モードの設定が完了しました。
続いて P59 の手順を参照して共有フォルダを作成してください。

誤操作によるトラブルを防ぐために (「通信の確認」画面)

下記の処理を行うとき、誤操作によるトラブルを防ぐために、通信の確認画面が表示されます。

- RAID アレイの構成変更 (作成 / 削除)
- 共有フォルダの削除
- TeraStation の初期化
- TeraStation のフォーマット

60 秒以内に確認番号欄に表示されている数字を正確に入力し、[設定] をクリックします。

確認番号欄にランダムに表示された番号を正確に入力し、[設定] をクリックします。

通信の確認画面

RAID1 モードで使用する

1 P31「通常モードで使用する」を参照して通常モードへの設定変更を完了させます。

2 [ディスク管理]-[RAID 設定] をクリックします。

3

4

5 [通信の確認] 画面が表示されます。

60 秒以内に確認番号欄に表示されている数字を正確に入力し、[設定] をクリックします。

6 以降は画面の指示にしたがって操作します。

⚠注意 RAID 構築中はファイル転送速度が数時間 (例：HS-D1.0TGL/R5 で約 5 時間) 低下します。STATUS/FULL ランプまたはアクセスランプが、緑色に繰り返し点滅しているときは電源 OFF にしないでください。OFF にすると再度はじめから設定処理を行います。

メモ RAID 設定変更中は DIAG ランプが 1 秒間隔で点滅します。

以上で RAID1 の設定が完了しました。
続いて P59 の手順を参照して共有フォルダを作成してください。

スパニングモードで使用する

1 P31「通常モードで使用する」を参照して通常モードへの設定変更を完了させます。

2 [ディスク管理]-[RAID 設定] をクリックします。

3

4

5 [通信の確認] 画面が表示されます。

60 秒以内に確認番号欄に表示されている数字を正確に入力し、[設定] をクリックします。

6 以降は画面の指示にしたがって操作します。

メモ RAID 設定変更中は DIAG ランプが 1 秒間隔で点滅します。

以上でスパニングの設定が完了しました。
続いて P59 の手順を参照して共有フォルダを作成してください。

RAID5 モードで使用する

TeraStation は出荷時に RAID5 モードに設定されています。他のモードを変更した後に RAID5 モードに戻すときは、次のように設定してください。

1 P31「通常モードで使用する」を参照して通常モードへの設定変更を完了させます。

2 [ディスク管理]-[RAID 設定] をクリックします。

5 [通信の確認] 画面が表示されます。

60 秒以内に確認番号欄に表示されている数字を正確に入力し、[設定] をクリックします。

6 以降は画面の指示にしたがって操作します。

⚠注意 RAID 構築中はファイル転送速度が数時間 (例：HS-D1.0TGL/R5 で約 5 時間) 低下します。STATUS/FULL ランプまたはアクセスランプが、緑色に繰り返し点滅しているときは電源 OFF にしないでください。OFF にすると再度はじめから設定処理を行います。

メモ RAID 設定変更中は DIAG ランプが 4 秒間隔で点滅します。

以上で RAID5 の設定が完了しました。
続いて P59 の手順を参照して共有フォルダを作成してください。

TeraStation にハードディスクを増設したいとき

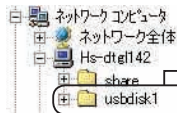
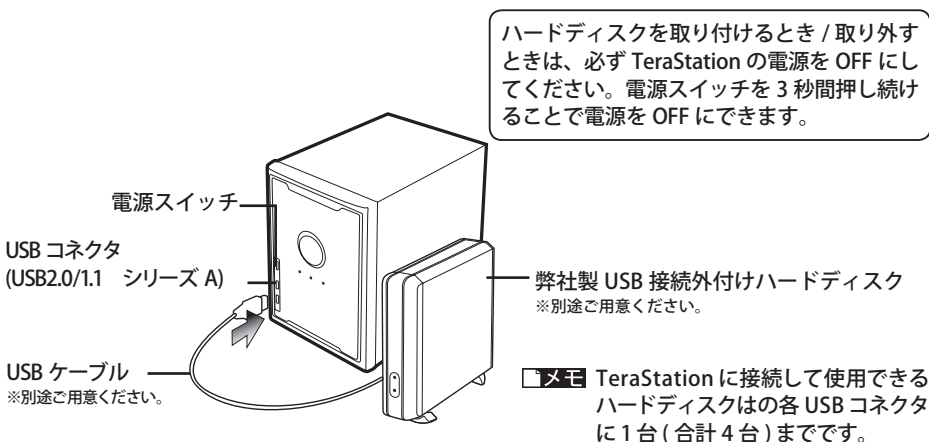
TeraStation には前面と背面に USB コネクタ (USB2.0/1.1 シリーズ A) を装備しています。USB コネクタには弊社製ハードディスクを増設して、TeraStation の共有フォルダを追加することができます。

⚠注意 「TeraStation の USB コネクタに関する制限」【P10】を必ずお読みください。

ハードディスクの接続

図のように接続をしてください。(図は前面の USB コネクタに接続している例です。背面にある USB コネクタにも接続することができます【P6】)。フォーマット済みのハードディスクであれば自動的に認識されます。未フォーマットの場合、P36 の手順でフォーマットしてください。

ハードディスクを取り付けるとき / 取り外すときは、必ず TeraStation の電源を OFF にしてください。電源スイッチを 3 秒間押し続けることで電源を OFF にできます。

メモ TeraStation に接続して使用できるハードディスクはの各 USB コネクタに 1 台 (合計 4 台) までです。

正常に接続できると [ネットワークコンピュータ] に [usbdisk1] が追加されています。

※ 下線部はハードディスクの増設台数によって異なります (1 ～ 4)。

⚠注意 **増設には弊社製 USB 接続外付けハードディスク (DUB/DIU シリーズは非対応です) などをお使いください。**

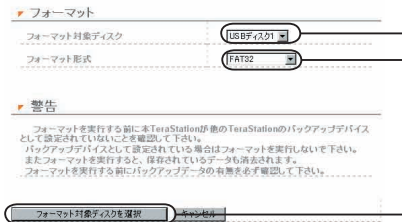
・MacOS X で自動生成されたファイル (.DS_Store など) がある場合は、ファイル名に FAT32/16 形式では使用できない文字が含まれているためバックアップできません (エラーが発生し、バックアップが途中で停止することがあります)。

増設したハードディスクをフォーマットする

TeraStation に接続したハードディスクは、次の手順でフォーマットできます。

1 P43 の手順で設定画面を表示します。

2 [ディスク管理]-[フォーマット] をクリックします。

3

※フォーマット形式について

選択できるフォーマット形式は次の 3 つです。

フォーマット形式	利点	欠点
FAT32 ハードディスクをパソコンに接続しなおしてデータを確認したい場合におすすめします。	万が一 TeraStation が故障しても、Windows パソコンに接続して使用することができます。	・読取専用 (バックアップ時のみ書込可能)。 ・1 ファイル 2GB 以上のデータはコピー、バックアップできません。 ・「：」など Mac OS X で使用する一部の文字が使用できません。
EXT3 LinkStation に接続しなおして使用することがある場合におすすめします。	・読取 / 書込どちらもできます。 ・ジャーナリングファイルシステム対応。 ・LinkStation に接続しても使用可能。	・フォーマットに時間がかかります (数分～ 10 分)。 ・フォーマット後に使用できる容量が XFS に比べて少ない。 ・1 つのフォルダにファイルの数が多くなるほどアクセスが遅くなります。
XFS TeraStation でしか増設したハードディスクを使用しない場合におすすめします。	・読取 / 書込どちらもできます。 ・ジャーナリングファイルシステム対応。 ・フォーマット後に使用できる容量が EXT3 に比べて多い。 ・1 つのフォルダにファイルの数が多くなってもアクセスが遅くならない。	TeraStation 専用 (LinkStation で使用不可)
NTFS TeraStation の設定画面ではフォーマットできません。読取専用です。	WindowsXP/2000 に接続して使用することができます。	・読取専用 (バックアップ時も書込不可) ・TeraStation の仕様により、ファイル名フォルダ名に使用されている日本語 (2 バイト文字) は全て文字化けします。

⚠注意 ・フォーマットするとハードディスク内のデータが全て消去されます。
・フォーマットするとハードディスクのパーティションも削除されます。

4 画面の情報・注意・警告をよく読み、[フォーマットを開始] をクリックします。

次のページへ続く

5 **[通信の確認] 画面が表示されます。**

60 秒以内に確認番号欄に表示されている数字を正確に入力し、[設定] をクリックします。

6 **以降は画面の指示にしたがって操作します。**

フォーマットが終了するまで共有フォルダの設定やファイル共有サービスなどの機能は使用できません (フォーマット完了後使用できます)。

以上でハードディスクのフォーマットは完了です。

増設したハードディスクにアクセス制限をする

増設したハードディスクにもアクセス制限を設定することができます。P61 の手順でアクセス制限することができます。

メモ 共有フォルダが見えなくても、フォーマット、ディスクチェック、バックアップを増設したハードディスクに実行することはできます。

増設に 5 台以上ハードディスクを使用する

TeraStation に増設できるハードディスクは、各 USB ポートに 1 台 (合計 4 台) までです。付け替えることで 5 台以上のハードディスクを使用することができますが、その際は次の手順で一度 USB ディスクの割り当てを解除する必要があります。

1 TeraStation の電源を OFF にし、使用しない USB ディスクを取り外します。

※電源スイッチを 3 秒間押し続けることで電源を OFF にできます。

2 P43 の手順で設定画面を表示します。

3 [ディスク管理]-[USB ディスク設定] をクリックします。

4

5 [USB ディスクの割当て解除] をクリックします。

6 TeraStation に使用したい USB ディスクを取り付けます。

自動的に USB ディスクとして割り当てられます。

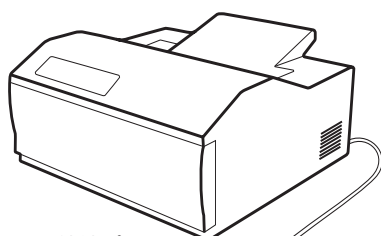
以上で設定は完了です。

TeraStation にプリンタを増設したいとき

TeraStation の USB コネクタにプリンタを増設して、共有使用することができます。

⚠注意 「TeraStation の USB コネクタに関する制限」【P10】を必ずお読みください。

プリンタの接続

図のように接続をしてください (図は前面の USB コネクタに接続している例です。背面にある USB コネクタにも接続することができます【P6】。)

WindowsXP での共有設定 (プリンタの登録)

1 プリンタに付属のマニュアルを参照してプリンタのドライバをインストールしてください。

2 [スタート]-[コントロールパネル] をクリックします。

3 [ネットワークとインターネット接続] アイコンをクリックします。

4 [マイネットワーク] ─ [ワークグループのコンピュータを表示する] ─ TeraStation のサーバ名の順にダブルクリックします。

5

次のページへ続く

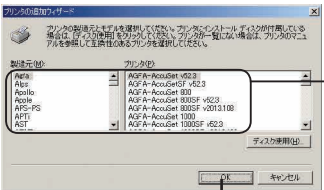
6 「HS-DTGL 上のプリンタに接続しようとしています。お使いのコンピュータにプリンタドライバが自動的にインストールされます。(省略) 続行しますか？」と表示されたら、[はい] をクリックします。

7 「プリンタのサーバに正しいプリンタドライバがインストールされていません。正しいドライバを検索するには [OK] をクリックしてください。」と表示されたら、[OK] をクリックします。

8

9 [以降は画面の指示に従ってプリンタを登録してください。

以上でプリンタの登録は完了です。

Windows2000/NT4.0 での共有設定 (プリンタの登録)

1 プリンタに付属のマニュアルを参照してプリンタのドライバをインストールしてください。

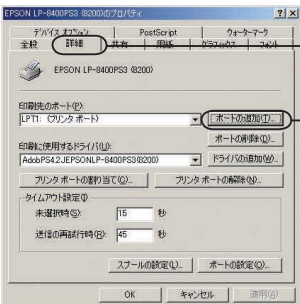
2 [マイ ネットワーク (※)] − [ネットワークの全体] − TeraStation のサーバ名をダブルクリックします。

※ WindowsNT4.0 では [ネットワークコンピュータ] と表示されています。

3 lp share プリンタ

接続したプリンタのアイコン (共有名が表示されています) をダブルクリックします。

4 [はい] をクリックします。

次のページへ続く

5

6

7 [以降は画面の指示に従ってプリンタを登録してください。

以上でプリンタの登録は完了です。

WindowsMe/98SE/98/95 での共有設定 (プリンタの登録)

1 プリンタに付属のマニュアルを参照してプリンタのドライバをインストールしてください。

2 [スタート] ─ [設定] ─ [プリンタ] をクリックします。

3 手順 1 でインストールしたプリンタを右クリックし、メニューから [プロパティ] をクリックします。

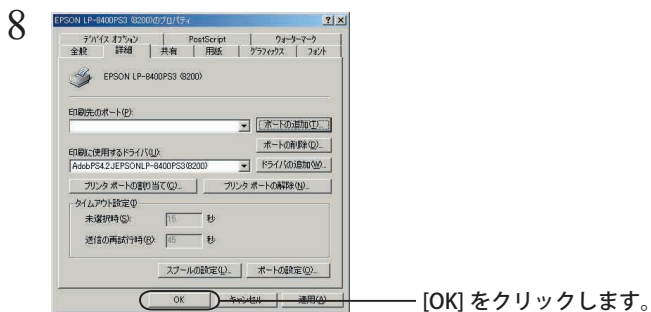
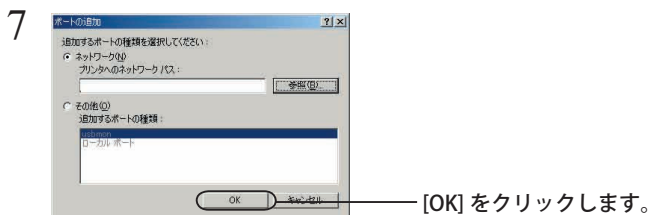
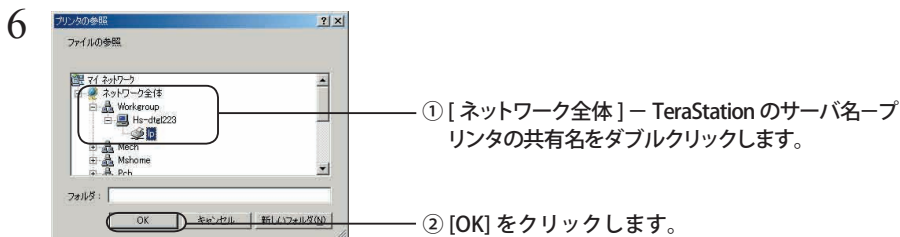
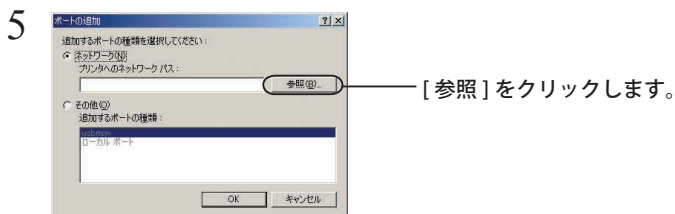
4

次のページへ続く

5

6

7

8

以上でプリンタの登録は完了です。

4 詳細設定 (応用編)

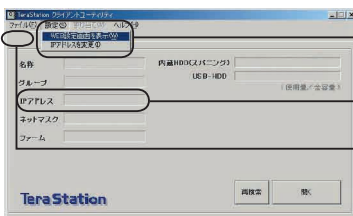
TeraStation の設定手順を説明しています。
共有フォルダの作成、アクセス権限などを設定したいときに行ってください。

設定画面の表示方法

設定画面を表示するときは、次の手順で行います。

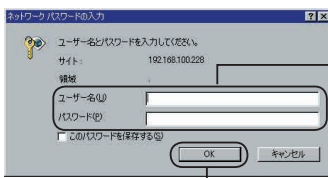
1 [スタート]-[(すべての) プログラム]-[BUFFALO]-[TeraStation]-[クライアントユーティリティ] をクリックします。

クライアントユーティリティが起動します。

2

① [設定]-[WEB 設定画面を表示] をクリックします。

②IP アドレスをメモしてください。

※ TeraStation が 2 台以上接続されているときは、タブが複数表示されます。設定したい TeraStation を選択してください。

3

① ユーザ名、パスワードを入力します。
はじめて設定画面を表示するときは、パスワードは簡単セットアップで設定したパスワードにしてください。

② [OK] をクリックします。

メモ はじめて設定画面を表示するときは、ユーザ名に admin、パスワードは初期設定で設定したパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

二度目以降の設定画面表示で、登録したユーザ名でログインするときは、任意のユーザ名、設定画面で登録したパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

ゲストとしてログインするときは、ユーザ名に guest、パスワード無しで [OK] をクリックします。

次のページへ続く

4 設定画面が表示されます。

⚠注意 ・ブラウザには Microsoft Internet Explorer5 以降をお使いください。
・ブラウザのプロキシが有効に設定されていると、設定画面が正常に表示できません。P85 を参照して無効にしてください。

TeraStation の現在の状態 (TeraStation 名、IP アドレス、ハードディスクの使用率、時刻) を表示しています。

メモ **増設した Windows 搭載パソコンで設定画面を表示するときは**

P43 の手順 2 でメモをした IP アドレスをお使いのブラウザのアドレス欄に入力して <Enter> キーを押してください。以降は P43 の手順 3 以降に従ってください。

詳細設定の項目

TeraStation の設定画面より、次の項目を設定できます。

クライアントユーティリティで入力したユーザ名、パスワードによって設定できる項目は異なります。

●ゲストログイン時の設定項目

ユーザ名 guest、パスワード無しでログイン

トップ画面		
プリントサーバ	プリンタジョブの削除	P52
PCast	LinkTheater および「Link de 録 !!」対応の弊社製 USB キャプチャ BOX 用の設定画面です。使い方については LinkTheater および USB キャプチャ BOX のマニュアルをお読みください。	

●ユーザログイン時の設定項目

設定画面で登録したユーザ名、パスワードでログイン

トップ画面		
ユーザ管理	情報の編集のみ (追加・削除はできません)	P52
プリントサーバ	プリンタジョブの削除	P52
PCast	LinkTheater および「Link de 録 !!」対応の弊社製 USB キャプチャ BOX 用の設定画面です。使い方については LinkTheater および USB キャプチャ BOX のマニュアルをお読みください。	

次のページへ続く

●管理者ログイン時の設定項目

ユーザ名 admin、管理者用パスワードでログイン

トップ画面		
基本	TeraStation の名称設定	P46
	時刻・NTP 設定	P46
	言語設定	P46
	共有サービス設定	P46
ネットワーク	IP アドレス設定	P47
	ワークグループ設定	P47
ディスク管理	ディスク情報	P48
	RAID 設定	P48
	USB ディスク設定	P49
	ディスクチェック	P49
	フォーマット	P49
共有フォルダ管理	共有フォルダ設定	P50
	匿名 FTP 設定	P51
グループ管理	グループ設定	P51
ユーザ管理	ユーザ設定	P52
プリントサーバ	プリントサーバ設定	P52
	プリンタジョブの削除	P52
バックアップ	バックアップ設定	P53
	TeraStation 一覧	P54
	TeraStation 手動検索対象	P54
PCast	LinkTheater および「Link de 録 !!」対応の弊社製 USB キャプチャ BOX 用の設定画面です。使い方については LinkTheater および USB キャプチャ BOX のマニュアルをお読みください。	
メンテナンス	メール通知設定	P54
	UPS 設定	P54
	スリープ設定	P55
	シャットダウン	P55
	初期化	P55
システム状態	システム情報	P56
	USB 情報	P56
	ディスク情報	P57
	ネットワーク情報	P57
	ユーザアクセス状態	P57

メモ 設定画面での入力文字数には、以下の制限があります。

TeraStation の名称 (※ 1)	半角英数 12 文字、-(ハイフン)、_(アンダーバー)
TeraStation の説明 (※ 1)	半角英数 50 文字（全角 25 文字）、-(ハイフン)、_(アンダーバー)、半角スペース
ワークグループ名 (※ 1)	半角英数 15 文字（全角 7 文字）、-(ハイフン)、_(アンダーバー)
共有フォルダ名 (※ 1)	半角英数 12 文字（全角 6 文字）、-(ハイフン)、_(アンダーバー)
共有フォルダの説明 (※ 1)	半角英数 50 文字（全角 25 文字）、-(ハイフン)、_(アンダーバー)、半角スペース
グループ名 (※ 2)	半角英数 12 文字、-(ハイフン)、_(アンダーバー)
グループの説明 (※ 2)	半角英数 50 文字（全角 25 文字）、-(ハイフン)、_(アンダーバー)、半角スペース
ユーザ名 (※ 3)	半角英数 20 文字、-(ハイフン)、_(アンダーバー)
ユーザの説明 (※ 1)	半角英数 50 文字（全角 25 文字）、-(ハイフン)、_(アンダーバー)、半角スペース
ユーザ (管理者含む) パスワード (※ 2)(※ 4)	半角英数 20 文字、-(ハイフン)、_(アンダーバー)

※ 1 先頭文字に数字や記号を使用することはできません。
※ 2 先頭文字に記号 (アンダーバー除く) を使用することはできません。
※ 3 先頭文字に記号を使用することはできません。
※ 4 TeraStation に登録するユーザのユーザパスワードは、Windows98SE/98/95 をお使いの方は半角英数 15 文字以上にしないでください。MacOS をお使いの方は半角英数 9 文字以上にしないでください。TeraStation の共有フォルダにアクセスできなくなります。

設定画面の機能一覧

TeraStation の設定画面で設定できる機能を説明します。本書に記載の画面は例であり、お使いの環境によって表示は異なります。

●基本

TeraStation 名称：
ネットワーク上で TeraStation を認識する名前を入力します。
TeraStation 説明：
ネットワーク上の TeraStation の名称を補足説明を入力します。

※ Windows でのみ表示されます。Macintosh では表示されません。

時刻設定
年月日 2004 年 11 月 29 日
時刻 13 時 54 分 51 秒
現在の時刻を取得
タイムゾーン GMT+09:00

[現在の時刻を取得] をクリックすると、現在の時刻を自動的に入力します。
タイムゾーン指定することもできます。

メモ TeraStation 内蔵の時計は長期間使用すると時間がずれることがあります。NTP 機能で自動的に修正することをおすすめします。

⚠注意 日本国内ではタイムゾーンを [GMT+9:00] 以外の設定変更しないでください。

NTP設定
NTP機能 使用する 使用しない
NTPサーバアドレス

NTP 機能：
ネットワークを通じて時刻を修正する機能 (3 時間ごとに自動修正) を使用するかどうか選択します。
NTP サーバアドレス：
NTP サーバの IP アドレスを入力します。
入力例：192.168.11.123

言語設定
表示言語 日本語
Windowsクライアント言語 日本語 SJIS(CP932)

言語設定：
使用する言語を選択できます。

⚠注意 「日本語」でお使いください。本製品では、日本語以外の言語での使用はサポートしておりません。

共有サービス設定
AppleTalk機能 使用する 使用しない
FTP機能 使用する 使用しない

共有サービス設定：
AppleTalk 機能、FTP 機能を使用するかを選択できます。

メモ AppleTalk 機能、FTP 機能を「使用しない」に設定すると、公開先に Macintosh/FTP を追加してもアクセスできなくなります。

●ネットワーク

DHCP クライアント機能：
ネットワーク内に DHCP サーバがあるとき、DHCP クライアント (IP アドレス自動割り当て) 機能を利用できます。

IP アドレス：
IP アドレスを設定します。

サブネットマスク：
サブネットマスクを設定します。

デフォルトゲートウェイ：
デフォルトゲートウェイが存在するとき、IP アドレスで指定します。

DNS サーバアドレス：
DNS サーバが存在するとき、IP アドレスで指定します。

⚠注意 Jumbo Frame(4100bytes/7418bytes) を使用するときは、P79 の注意事項を必ずお守りください。

イーサネットフレームサイズ設定：
一回で転送できるデータの最大サイズを変更して転送効率を向上させることができます。

1518 バイト (デフォルト)
　出荷時には 1518bytes に設定されています。
4100 バイト (Jumbo Frame)
　4100bytes で転送を行います。
7418 バイト (Jumbo Frame)
　7418bytes で転送を行います。

ネットワーク参加方法：
ネットワークに参加する方法「ワークグループ」が表示されています。
ワークグループ名：
ネットワーク参加方法にワークグループを選択したとき、Windows 搭載パソコン (Microsoft ネットワーククライアント) で、TeraStation を所属させるグループ名を入力します。

WINS サーバの IP アドレス：
WINS サーバを利用する場合に、WINS サーバの IP アドレスを入力します。

●ディスク管理

RAID アレイ情報：
現在の RAID アレイの詳細情報を表示します。

ディスク情報：
現在のハードディスクの詳細情報を表示します。

USB ディスク情報：
USB コネクタに接続されているハードディスクの詳細情報を表示します。

RAID設定

名称	RAIDモード	構成ディスク	容量
RAIDアレイ1	スパニング	ディスク1,ディスク2,ディスク3,ディスク4	929.3 GB
RAIDアレイ2	設定されていません		

RAID 設定：
現在の RAID アレイの情報を表示します。名称をクリックすると RAID 設定画面を表示します。

RAIDメンテナンス機能

RAIDメンテナンス機能	◉使用する ○使用しない
RAIDメンテナンス機能実行スケジュール	◉毎週 日曜日 ○毎月1日 □ 今すぐRAIDメンテナンス機能を実行する
RAIDメンテナンス機能開始時刻	1 時

RAID メンテナンス機能：
RAID メンテナンス機能を実行します。
[RAID メンテナンス機能実行スケジュール] および [RAID メンテナンス機能開始時刻] で、定期的に RAID メンテナンス機能を自動実行するように設定できます。容量によって必要な時間は異なります (1TB 約 6 時間)。

RAIDアレイ障害設定

RAIDアレイ障害発生時にシャットダウンを行う	◉行う ○行わない

設定

RAID アレイ障害設定：
RAID アレイにエラーが発生したとき、データを保護するため自動的にシャットダウンします (RAID1 または RAID5 で使用しているときのみの機能です。通常モード、スパニングモードでは機能しません)。

⚠注意 シャットダウン後に本体の電源ボタンで起動させることが可能ですが、そのまま使用を継続せずに速やかにハードディスクの交換をしてください。RAID アレイ障害中に他のハードディスクも障害が発生すると全てのデータを失います。

RAID設定

RAIDアレイ名称	RAIDアレイ2
RAIDモード	◉RAID5 ○RAID1 ○スパニング

構成ディスク

☑ ディスク1(WDC WD2500BB-00GUA0)	RAIDアレイ1で使用中	232.3 GB
☑ ディスク2(WDC WD2500BB-00GUA0)	RAIDアレイ1で使用中	232.3 GB
☑ ディスク3(WDC WD2500BB-00GUA0)	RAIDアレイ1で使用中	232.3 GB
☑ ディスク4(WDC WD2500BB-00GUA0)	RAIDアレイ1で使用中	232.3 GB

RAIDアレイの設定　キャンセル

RAID 設定：
RAID をまだ設定していないときは、[RAID5]、[RAID1]、[スパニング] から選択できます。どれも選択しない場合、通常モード (4 つのハードディスク) として使用されます。

構成ディスク：
RAID を構成しているハードディスクを表示しています。RAID1 を設定するときは、使用するディスクをクリックしチェックマークをつけます。RAID を設定するときは、[RAID アレイの設定] をクリックします。RAID 構成を削除するときは、[RAID アレイの削除] をクリックします。

⚠注意 RAID の設定を変更・削除するとハードディスク内のデータも削除されます。大切なデータは必ずバックアップをとってから行ってください。

USBディスク設定

名称	割当てディスク	容量
USBディスク1	USB2-IDE Bridge	27.9 GB
USBディスク2	割当てられていません	
USBディスク3	割当てられていません	
USBディスク4	割当てられていません	

USB ディスク設定：
USB コネクタに接続しているハードディスクの情報を表示します。名称をクリックするとUSB ディスクの割り当て画面を表示します。

USBディスク設定

USBディスク名称	USBディスク1

割当てUSBディスク

USB2-IDE Bridge	状態	割当て済み
	製造者	BUFFALO INC.
	ユニット名	ATDA04-0
	容量	27.9 GB

USBディスクの割当て解除　キャンセル　USBディスクのフォーマット

割り当て USB ディスク：
USB コネクタに接続しているハードディスクの詳細情報を表示します。
TeraStation の USB コネクタにハードディスクを取り付けると自動的に割り当てられます (最大 4 つまで)。
5 種類以上のハードディスクを取り扱いたいときは、使用しない USB ディスクの [USB ディスクの割当て解除] をクリックしてください。
[USB ディスクのフォーマット] をクリックするとフォーマット画面が表示されます。

ディスクチェック

チェック対象ディスク	RAIDアレイ1

警告

ディスクチェックを実行する前に本TeraStationが他のTeraStationのバックアップデバイスとして設定されていないことを確認して下さい。
バックアップデバイスとして設定されている場合はディスクチェックを実行しないで下さい。

チェック対象ディスクを選択　キャンセル

TeraStation および USB コネクタに増設したハードディスクをチェックします。使用している容量によってチェックに必要な時間は異なります (数十分間〜数十時間)。

⚠注意
- **スリープ・バックアップを設定しているときは、ディスクチェックは実行できません。**
- **TeraStation のデータバックアップ先に本製品が指定されているときは、ディスクチェックは行わないでください。バックアップが正常に行えません。**

フォーマット

フォーマット対象ディスク	RAIDアレイ1
フォーマット形式	XFS(デフォルト)

警告

フォーマットを実行する前に本TeraStationが他のTeraStationのバックアップデバイスとして設定されていないことを確認して下さい。
バックアップデバイスとして設定されている場合はフォーマットを実行しないで下さい。
またフォーマットを実行すると、保存されているデータも消去されます。
フォーマットを実行する前にバックアップデータの有無を必ず確認して下さい。

フォーマット対象ディスクを選択　キャンセル

TeraStation および USB コネクタに増設したハードディスクをフォーマットします。フォーマットを実行すると、データは全て消去されます。大切なデータを失うことのないようご注意ください。ハードディスクの容量によってフォーマットに必要な時間は異なります (数分間)。

⚠注意
- **スリープ・バックアップを設定しているときは、フォーマットは実行できません。**
- **複数の TeraStation 間でバックアップを行う場合、データバックアップ先に指定している TeraStation は、フォーマットを行わないでください。バックアップが正常に行えません。またフォーマットを実行するとバックアップデータも全て消去されます。ご注意ください。**

●共有フォルダ管理

共有フォルダ設定

	共有フォルダ名	ディスク領域	共有フォルダの説明
	share	RAIDアレイ1	TeraStation folder
	usbdisk1	USBディスク1	USB Disk1
	usbdisk2	USBディスク2	USB Disk2

共有フォルダの追加　共有フォルダの削除

[共有フォルダの追加] をクリックすると新規共有フォルダ追加画面になります。
共有フォルダ名をクリックすると共有フォルダ情報編集画面になります。
共有フォルダを選択して [共有フォルダの削除] をクリックすると共有フォルダを削除します。

共有フォルダの追加

共有フォルダ名	
共有フォルダの説明	
ディスク領域	ディスク1
公開先	Windows　Macintosh　FTP　バックアップ
共有フォルダ属性	読取専用　書込可能
ゴミ箱機能	使用する　使用しない
バックアップ公開用パスワード	

共有フォルダ名：
共有フォルダの名称 (半角英数字 12 文字、または全角 6 文字まで) を入力します。

共有フォルダの説明：
共有フォルダの説明を入力します。

ディスク領域：
使用するディスク領域を選択します。

公開先：
共有フォルダの公開先を選択します。

共有フォルダ属性：
共有フォルダを読取専用にするか書込可能にするか選択します。

ゴミ箱：
設定された共有フォルダの中のファイルを削除すると、共有フォルダ内の [trashbox] フォルダにファイルは移動されます。

バックアップ公開用パスワード：
ネットワーク経由で他の TeraStation から本製品にバックアップするとき、誤ってバックアップ先に選択されないようパスワードを設定することができます。

アクセス制限機能：
アクセス制限機能を使用するかしないか選択します。
[全グループ / ユーザ] のグループ名、ユーザ名を選択して [←] をクリックすると、[読取専用]、[読取 / 書込可能] に移動させることができます。

匿名FTP設定

匿名FTP機能	使用する 使用しない
匿名FTPフォルダ	share
匿名FTP属性	読取専用 書込許可

設定

匿名 FTP 設定機能：
匿名 FTP を使用するかを選択します。

匿名 FTP フォルダ：
匿名 FTP に公開する共有フォルダを選択します。

匿名 FTP 属性：
読取専用にするか書込許可にするか選択します。

●グループ管理

グループ設定

	グループ名	グループの説明
	hdusers	Default System Group
	storage	

グループの追加　グループの削除

[グループの追加] をクリックすると新規グループ追加画面になります。
グループ名をクリックするとグループ情報編集画面になります。
グループを選択して [グループの削除] をクリックするとグループを削除します。

メモ　出荷時設定では、汎用グループとして全ユーザが所属する「hdusers」グループが設けられています。編集・削除はできません。

グループの追加

グループ名	
グループの説明	

グループに参加するユーザ

	ユーザ名	ユーザの説明
	admin	Built-in account for administering the system
	guest	Built-in account for guest access to the system

設定　キャンセル

グループ名：
グループの名称 (半角英数字 12 文字まで) を入力します。
グループの説明：
グループの説明を入力します。
グループに参加するユーザ：
グループに所属させるユーザを選択します。

●ユーザ管理

[ユーザの追加] をクリックすると新規ユーザ追加画面になります。ユーザ名をクリックするとユーザ編集画面になります。ユーザを選択して [ユーザの削除] をクリックするとユーザを削除します。

メモ　出荷時設定では、[admin]、[guest] が設けられています。編集・削除はできません。

ユーザの追加
ユーザ名
パスワード
確認用パスワード
ユーザの説明
設定　キャンセル

ユーザ名：
ユーザの名称 (半角英数字 20 文字まで) を入力します。

パスワード (20 文字以内)：
TeraStation のアクセスに必要なパスワードを入力します。

確認用パスワード：
確認のため再度入力します。

ユーザの説明：ユーザの説明を入力します。

メモ　追加したユーザは自動的に [hdusers] グループに所属します。所属を他のグループに変更したいときは、ユーザグループ設定から行ってください。

●プリントサーバ

プリントサーバ設定
Windows用プリントサーバ機能　使用する　使用しない

TeraStation に接続したプリンタを使用するときは、必ず [使用する] を選択してください。[使用しない] を選択すると TeraStation に接続したプリンタは認識されません。

プリンタジョブの削除
注意　プリンタジョブの削除を行うと、全ての印刷データが削除されます。この操作を取り消すことはできません。
プリンタジョブの削除

[プリンタジョブの削除] をクリックすると、TeraStation に接続したプリンタの印刷データを削除します。

●バックアップ

バックアップ設定

タスク番号	スケジュール	状態
タスク1		登録されていません
タスク2		登録されていません
タスク3		登録されていません
タスク4		登録されていません
タスク5		登録されていません
タスク6		登録されていません
タスク7		登録されていません
タスク8		登録されていません

バックアップ設定：
バックアップタスクが8個用意されています。バックアップタイマー設定を最大8個設定することができます。タスク番号をクリックするとバックアップタスク編集画面が表示されます。

バックアップ先検索用パスワード

検索用パスワード	

バックアップ先検索用パスワード：
ネットワーク経由で他のTeraStationの共有フォルダをバックアップ先にしたい場合に入力します。他のTeraStationで共有フォルダに設定したバックアップ公開用パスワードを入力します。入力しない場合、バックアップ公開用パスワードを設定した共有フォルダへのバックアップはできません。

バックアップタスク編集

タスク番号	タスク1
バックアップ実行スケジュール	◉未実行 ○今すぐ実行 ○毎日 ○毎週
バックアップ実行日	日曜日
バックアップ実行時刻	0 時 00 分
暗号化転送	○使用する ◉使用しない
圧縮転送	○使用する ◉使用しない
上書きバックアップ	○使用する ◉使用しない
	☐差分バックアップを利用する

設定　キャンセル　タスクの内容をクリア

タスク番号：
バックアップ設定画面でクリックしたタスク番号が表示されます。

バックアップ実行スケジュール：
バックアップを実行するスケジュールを[今すぐ]、[毎日]、[毎週]から選択します。

※[未実行]を選択して設定してもバックアップは実行されません。

バックアップ実行日：
バックアップを実行する曜日を選択します。

バックアップ実行時間：
バックアップを実行する時間を選択します。

暗号化転送：
バックアップする際データを暗号化して転送するかしないか選択します。

⚠注意
- **暗号化を有効にするとスループットが低下します。**
- **バックアップ先がUSBハードディスクの場合、[使用しない]にしてください。**

圧縮転送：
バックアップする際データを圧縮してから転送するかしないか選択します。

メモ　ネットワーク経由でバックアップをするときに、ネットワーク帯域がせまい場合に、圧縮転送すると転送速度が向上することがあります(データを1つのアーカイブにしてバックアップするわけではありません)。

⚠注意　バックアップ先がUSBハードディスクの場合、[使用しない]にしてください。

上書きバックアップ：
同一のファイルがあった場合に、上書きするかしないか選択します。

差分バックアップを利用する：
バックアップ先とバックアップ元のデータに差分があったとき、差分のみ上書きバックアップする機能を使用するか選択します。

⚠注意　上書きのみ差分バックアップできます。

バックアップ対象フォルダ：
バックアップ元とバックアップ先の共有フォルダを選択し [バックアップ対象の追加] をクリックします。バックアップ先共有フォルダは、[TeraStation 一覧] で表示される TeraStation の共有フォルダを選択することができます。

ネットワーク上にある TeraStation/LinkStation の一覧を表示します。

一覧に表示されない TeraStation があった場合、または異なるネットワークにある TeraStation を追加する場合は、TeraStation の IP アドレスを入力し、[検索対象の追加] をクリックします。追加した TeraStation を選択し [検索対象 IP アドレスの削除] をクリックすると、登録を削除できます。

●メンテナンス

メール通知機能：
メール通知機能を使用するか選択します。
メール通知機能で次の内容を送信します。
・バックアップ完了のお知らせ
・RAID 構成変更時のお知らせ
・RAID(ディスク) エラー発生時の連絡
・ファンの異常発生時の連絡
・指定した時刻にハードディスクの状態を送信

SMTP サーバアドレス：
SMTP サーバアドレス (メールサーバアドレス) を入力します。

送信先メールアドレス 1 ～ 5：
最大 5 つのメールアドレスにメール通知を「送信できます。

HDD 状態送信時刻：
ハードディスクの状態を定期的に送信する際、送信する時刻を設定します。

テストメール送信：
送信先メールアドレスにテストメールを送信します。

UPS 連動機能：
UPS(無停電電源機能) を使用するか選択します。

UPS の自動シャットダウン：
TeraStation 終了後、UPS からの電源供給を止めるか選択します。

スリープ設定
スリープ機能　○使用する　●使用しない
スリープ開始時刻　0 時 00 分
スリープ復帰時刻　12 時 00 分
設定

スリープ機能：
TeraStation の電源を時間設定して自動的に電源 ON/OFF したいときは、[使用する] を選択して、[設定] をクリックします。

スリープ条件設定：
[スリープ設定] で [使用する] を選択した際に、自動的に電源を OFF にするスリープ開始時刻と、自動的に電源を ON にするスリープ復帰時刻を設定します。

⚠注意
- スリープ機能は、スリープ開始時刻になるとすぐに実行しますので、開始時刻前にデータの移動はお控えください。
- バックアップとスリープは同時に設定することはできません。
- TeraStation のデータバックアップ先に本製品が指定されているときは、スリープ機能を使用しないでください。バックアップが正常に行えません。
- RAID メンテナンス機能実行中にスリープ機能が動作すると RAID メンテナンス機能が正常に完了できないことがあります。スリープ機能は使用しないことを強くおすすめします。

TeraStation のシャットダウン：
[シャットダウン実行] をクリックして TeraStation の電源を切ることができます。

TeraStation の再起動：
[再起動実行] をクリックすると TeraStation が再起動されます。

メモ
- 設定画面から TeraStation の電源を ON にすることはできません。電源を ON にするときは、TeraStation の電源スイッチを押してください。
- スリープ機能設定画面でスリープ復帰時刻を設定しておくと、自動的に TeraStation の電源を ON にすることもできます。

本体初期化スイッチ設定：
TeraStation 背面の初期化スイッチ (P6) を押した際に、TeraStation 管理者のパスワードを初期化するか選択します。
※ [初期化しない] を選択した場合、パスワードを忘れると TeraStation の設定ができなくなります。必ずパスワードは忘れないように書き留めておいてください。

TeraStationの初期化
TeraStationの初期化を実行
初期化を実行

TeraStation の初期化：
[初期化を実行] をクリックすると、次の設定が初期化されます。
TeraStation 名、説明、NTP 設定、ワークグループ設定、共有サービス設定、共有フォルダのアクセス制限、ユーザ設定、ユーザグループ設定、メール通知機能設定、UPS 設定、スリープ設定、バックアップ設定、管理者パスワード

●システム状態

システム情報

TeraStationの名称	
TeraStationの説明	TeraStation
ファームウェアバージョン	
現在時刻	
タイムゾーン	GMT+09:00
Windowsワークグループ・ドメイン名	
AppleTalk機能	使用する
AppleShareゾーン名	
FTPサーバ機能	使用しない
NTP機能	使用する
スリープ設定	使用しない
Eメール通知	使用しない
ファン状態	正常 (331rpm)

TeraStation の名称：
ネットワーク上で TeraStation を認識する名前です。

TeraStation の説明：
ネットワーク上の TeraStation の名称を説明です。Windows でのみ表示されます。Macintosh では表示されません。

ファームウェアバージョン：
TeraStation の動作を制御しているプログラムのバージョンです。

現在時刻：
現在の時刻を表示します。

タイムゾーン：
設定されているタイムゾーンを表示します。

Windows ワークグループ名：
Windows で TeraStation を所属させたときのグループ名です。

AppleTalk 機能：
AppleTalk 機能の使用する / しないを表示します。

AppleShare ゾーン名：
Macintosh で TeraStation を所属させるゾーン名です。

FTP サーバ機能：
TeraStation の FTP サーバ機能の使用する / しないを表示します。

NTP 機能：
ネットワークを通じて時刻を自動修正する NTP 機能の使用する / しないを表示します。

スリープ設定：
スリープ機能を使用する / しないを表示します。

E メール通知：
E メール通知機能を使用する / しないを表示します。

ファン状態：
ファンの状態を表示します。

USB情報

USBクラス	製造者	製品名	USB2.0/1.1
storage	BUFFALO INC.	USB2-IDE Bridge	USB2.0

USB 情報：
USB コネクタに接続した機器の情報を表示します。

ディスク情報

RAIDアレイ情報

RAIDアレイ1	状態	設定されていません
RAIDアレイ2	状態	設定されていません

ディスク情報

ディスク1	状態	通常モード
	ユニット名	WDC WD2500BB-00GUA0
	全容量	243,362,256 kbytes

ディスク情報：
RAID アレイ、ディスク、USB ディスクの詳細情報を表示します。

ネットワーク情報

MACアドレス	00:07:40:CE:99:0A
IPアドレス	192.168.19.165
サブネットマスク	255.255.255.0
DNSサーバアドレス	202.11.178.112
デフォルトゲートウェイ	192.168.19.1
イーサネットフレームサイズ	1518バイト
リンク速度	1000Mbps(全二重)
受信パケット数	40,265パケット
受信パケットエラー数	0パケット
送信パケット数	34,145パケット
送信パケットエラー数	0パケット

MAC アドレス：
TeraStation の MAC アドレスです。

IP アドレス：
TeraStation の IP アドレスです。

サブネットマスク：
TeraStation のサブネットマスクです。

DNS サーバアドレス：
DNS サーバの IP アドレスです。

デフォルトゲートウェイ：
デフォルトゲートウェイの IP アドレスです。

イーサネットフレームサイズ：
一度に転送できる最大データサイズです。

リンク速度：
接続している LAN の規格上の通信速度です。

受信パケット数：
受信パケットの数です。

受信パケットエラー数：
受信パケットエラーの数です。

送信パケット数：
送信パケットの数です。

送信パケットエラー数：
送信パケットエラーの数です。

ユーザアクセス状態

Windowsアクセスユーザ

ユーザ	PC名称	IPアドレス
(接続されていません)		

FTPアクセスユーザ

ユーザ	IPアドレス
(接続されていません)	

アクセス状態：
Windows、FTP からのアクセス状態を表示します。

設定の手順例

設定の手順の例を説明します。

TeraStation の名称 (ホスト名)・時刻の設定

1 P43 の手順で設定画面を表示します。

2 [基本] をクリックします。

3

以上で TeraStation の名称、時刻の設定は完了です。

共有フォルダの作成

1 P43 の手順で設定画面を表示します。

2 [共有フォルダ管理]-[共有フォルダ設定] をクリックします。

3 [共有フォルダの追加] をクリックします。

4

以上で新しい共有フォルダの作成は完了です。

共有フォルダのデータを誤って消去しないために(ゴミ箱機能の使用)

上記設定画面で共有フォルダごとにゴミ箱機能の設定ができます (AppleTalk 接続および FTP 接続時は使用できません)。OS のゴミ箱と同じように、共有フォルダ内の削除されたデータは一時的にゴミ箱 [trashbox] フォルダに移動されます。削除したデータを元に戻したいときは、[trashbox] フォルダを開いてファイルを移動させてください。

⚠注意 フォルダごと削除した場合、ゴミ箱にはファイルが個々に展開されます。削除する前のフォルダ情報は失われます。

共有フォルダを読み取り専用にしたいときは

共有フォルダ設定画面で共有フォルダの属性 [読取専用] を選択し [設定] をクリックすると、共有フォルダは読み取り専用になります。

※初期設定は [書込許可] に設定されています。

※読み取り専用属性に設定した共有フォルダは、アクセス制限で書き込み可能になっているユーザ、グループでもデータを書き込むことはできません (読み取り専用となります)。

※読み取り専用属性に設定した共有フォルダや、FAT/NTFS 形式の USB ハードディスクは、共有フォルダの説明に「(Read Only)」が追加されます。

ユーザの追加

1 P43 の手順で設定画面を表示します。

2 [ユーザ管理] をクリックします。

3 [ユーザの追加] をクリックします。

4

以上でユーザの追加は完了です。

⚠注意 Windows のネットワークログイン時のユーザ名、パスワードと同じユーザ名、パスワードにしてください。異なる場合、アクセス制限を設定した共有フォルダにアクセスできません。

また、WindowsXP/2000 では、ネットワークログイン名が異なっていた場合、ユーザ名とパスワードを入力する画面が表示されますが、入力しても共有フォルダにアクセスはできません。必ずこちらで設定したユーザ名、パスワードで Windows のネットワークにログインしてください。

グループの追加

1 P43 の手順で設定画面を表示します。

2 [グループ管理] をクリックします。

3 [グループの追加] をクリックします。

4

以上でグループの追加は完了です。

アクセス制限の設定

TeraStation は、共有フォルダごとにアクセスできるユーザやグループを設定できます。大切なデータを公開したくないときなどに設定ください。

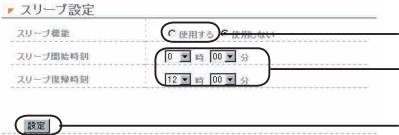
1 P43 の手順で設定画面を表示します。

2 [共有フォルダ管理]-[共有フォルダ設定] をクリックします。

3 アクセス制限を設定したい共有フォルダをクリックします。

4 ① [使用する] をクリックします。

② グループを選択し、[←] をクリックして読取専用または読取 / 書込可能にグループを移動します。

ユーザを選択し、[←] をクリックして読取専用または読取 / 書込可能にユーザを移動します。

③ [設定] をクリックします。

以上でアクセス制限の設定は完了です。

メモ 特定のユーザに読取専用と書込可能が重複した場合は、読取専用となります。

スリープ機能を使用する

1 P43 の手順で設定画面を表示します。

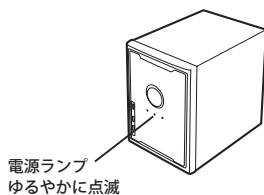
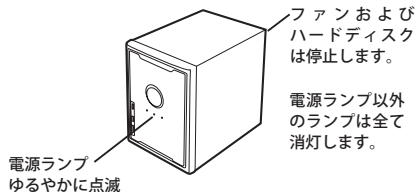
2 [メンテナンス]-[スリープ設定] をクリックします。

3

① [使用する] をクリックします。
② 電源を OFF にするスリープ開始時刻、電源を ON にするスリープ復帰時刻を設定します。
③ [設定] をクリックします。

以上でスリープの設定は完了です。

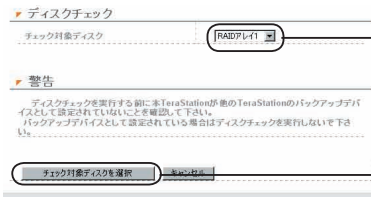
⚠注意 設定した時刻になると強制的に TeraStation の電源が OFF になります。
設定した時刻に TeraStation にアクセスしないようご注意ください。
データの保存中 (またはコピー中) の場合、データが消失します。

メモ スリープ設定時、スリープ中は次のようにランプが点灯します。

<< スリープ設定時 >>　　<< スリープ中 >>

TeraStation のハードディスクをチェックする

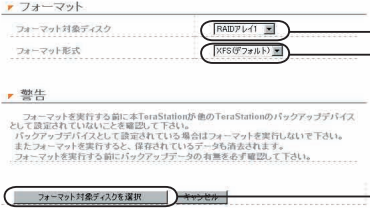
⚠注意
・TeraStation および USB コネクタに増設したハードディスク内のデータをチェックします。異常があったときには自動的に修復します。チェックには数十分間〜数十時間かかります。
・チェック中は TeraStation の共有フォルダを利用できません。
・チェック中は TeraStation の電源スイッチを絶対に OFF にしないでください。

1 P43 の手順で設定画面を表示します。

2 [ディスク管理]-[ディスクチェック] をクリックします。

3

4 画面に表示された警告・注意をよく読み、[チェックを開始] をクリックします。以降は画面の指示にしたがって操作します。

チェック中は、TeraStation の STATUS/FULL ランプが点滅しています (USB コネクタに増設したハードディスクを除く)。チェックが終わるまで TeraStation の共有フォルダはアクセスできません。

以上でハードディスクのチェックは完了です。

TeraStation のハードディスクをフォーマットする

⚠注意 ・TeraStation および USB コネクタに増設したハードディスクのデータ、共有フォルダに関する設定が全て消去されます。誤って実行しないようご注意ください。フォーマットには数分かかります。
・フォーマット中は TeraStation の共有フォルダを利用できません。
・フォーマット中は TeraStation の電源スイッチを絶対に OFF にしないでください。

1 P43 の手順で設定画面を表示します。

2 [ディスク管理]-[フォーマット] をクリックします。

3

4 画面に表示された警告・注意をよく読み、[フォーマットを開始]をクリックします。

5 [通信の確認] 画面が表示されます。

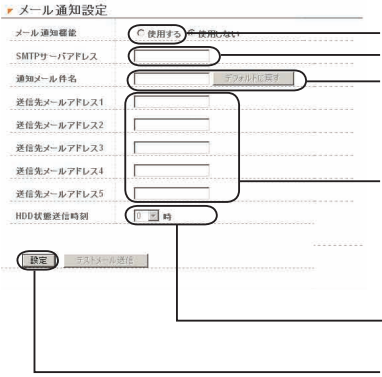
60 秒以内に確認番号欄に表示されている数字を正確に入力し、[設定] をクリックします。

6 以降は画面の指示にしたがって操作します。

フォーマット中は、TeraStation の STATUS/FULL ランプが点滅しています (USB コネクタに増設したハードディスクを除く)。フォーマットが終わるまで TeraStation の共有フォルダはアクセスできません。

USB コネクタに増設したハードディスクをフォーマットした場合、パーティションを作成しなおします。

メモ フォーマットの所要時間はハードディスクの容量によって異なります (数秒～数十秒)。

以上でハードディスクのフォーマットは完了です。

メール通知機能を使用する

TeraStation の設定を変更したときや異常が発生したとき、指定のメールアドレスにメッセージを送信するよう設定することができます。

メモ　**メール送信される内容は次のとおりです。**
・指定した時刻にハードディスクの状態を送信
・バックアップ完了のお知らせ
・RAID 構成変更時のお知らせ
・RAID(ディスクエラー) 発生時の連絡
・ファンの異常発生時の連絡

1　P43 の手順で設定画面を表示します。

P43

2　[メンテナンス]-[メール通知設定] をクリックします。

3

以上でメール通知機能の設定は完了です。

UPS(無停電電源装置) と併用する

別途 UPS 用意することで、停電時に TeraStation を自動でシャットダウンしデータを保護できます。UPS と併用するときは、必ず以下の設定をおこなってください。

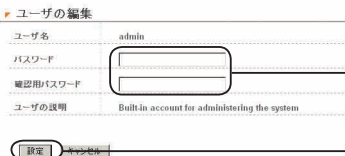
1 UPS の電源ケーブルをコンセントに接続します。

2 UPS と TeraStation を AC ケーブルで接続します。

3 UPS に付属のシリアルケーブルを TeraStation 背面の UPS コネクタ (P6) に接続します。

4 UPS → TeraStation の順に電源を ON にします。

5 P43 の手順で設定画面を表示します。

6 [メンテナンス]-[UPS 設定] をクリックします。

7

① UPS 連動機能 [使用する] を選択します。
※

② [設定] をクリックします。

※ UPS の自動シャットダウン機能は、TeraStation が正常終了した後に UPS からの電源供給を止める機能です (UPS 側の設定が必要な場合があります。UPS 側の設定については、UPS 付属のマニュアルを参照してください)。UPS に TeraStation 以外の機器を接続しているときは、[使用しない] を選択してください。

以上で UPS の設定は完了です。

TeraStation の管理者パスワードを変更する

1 P43 の手順で設定画面を表示します。

2 [ユーザ管理] をクリックします。

3

4

[admin] をクリックします。

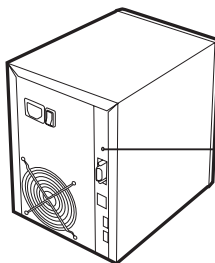
①パスワード、確認用パスワードを入力します。

② [設定] をクリックします。

以上で管理者パスワードの設定は完了です。

設定の初期化手順

TeraStation の初期化スイッチ

TeraStation の設定を出荷時に戻したいときは、TeraStation 動作時 (電源ランプ点灯) に背面の初期化スイッチを押してください。

初期化スイッチ
ボールペンの先などで 3 秒間押し続けると、本製品の設定内容が出荷時設定に変更されます。

メモ
- 初期化スイッチでは、IP アドレス、イーサネットフレームサイズ設定、管理者 (admin) パスワードが初期化されます。TeraStation 設定画面で管理者パスワードを初期化しない設定を行うと、IP アドレスとイーサネットフレームサイズ設定のみ初期化されます。他項目の初期化は TeraStation 設定画面で初期化します。【P68】
- TeraStation の初期化スイッチを押しても管理者 (admin) パスワードを初期化させたくないときは、下記 [メンテナンス]-[初期化] 画面で、初期化スイッチ設定 (管理者パスワード) を [初期化しない] を選択し、[設定] をクリックしてください。

初期化スイッチで管理者 (admin) パスワード初期化しないよう設定した場合、パスワードを忘れると TeraStation の設定ができなくなります。必ず書き留めて忘れないようにしてください。

注意 初期化スイッチを押して再セットアップ (簡単セットアップを実行) をするときは、セットアップモードの選択画面で、必ず [再セットアップ] を選択してください。[初回セットアップ] を選択するとデータが全て消去されます。

設定画面で行う初期化

TeraStation の設定画面では、初期化スイッチでは行えない次の項目を初期化することができます。

初期化される内容：
TeraStation 名、説明、NTP 設定、ワークグループ設定、共有サービス設定、共有フォルダのアクセス制限、ユーザ設定、ユーザグループ、PCast、メール通知機能設定、UPS 設定、スリープ設定、バックアップ設定、管理者パスワード

1 P43 の手順で設定画面を表示します。

2 [メンテナンス]-[初期化] をクリックします。

3

4 [通信の確認] 画面が表示されます。

60 秒以内に確認番号欄に表示されている数字を正確に入力し、[設定] をクリックします。

5 以降は画面の指示にしたがって操作します。

バックアップ

パソコンのデータをバックアップする (WindowsXP/2000/Me/98SE/98)

パソコンのデータを TeraStation にバックアップするときは、簡単バックアップのマニュアルを参照して**簡単バックアップ**を使用してください。マニュアルを読むには､簡単セットアップで [簡単バックアップのマニュアルを見る] を選択して、[開始] をクリックします。

TeraStation のデータをバックアップする

TeraStation の USB コネクタに接続したハードディスクが FAT32/16 形式でフォーマットされている場合、次の制限があります。P36 の手順で XFS 形式または EXT3 形式でフォーマットすることをおすすめします。

- 共有フォルダとして割り当ててデータを書き込むことはできません。TeraStation のバックアップ先としてお使いください。
- 1 ファイル 2GB 以上のデータはバックアップできません (エラーが発生し、バックアップが途中で停止することがあります)。
- MacOS X で自動作成されたファイル (.DS_Store など）がある場合は、ファイル名に FAT16/32 形式では使用できない文字が含まれているためバックアップできません（エラーが発生し、バックアップが途中で停止することがあります)。

●バックアップ先を設定する

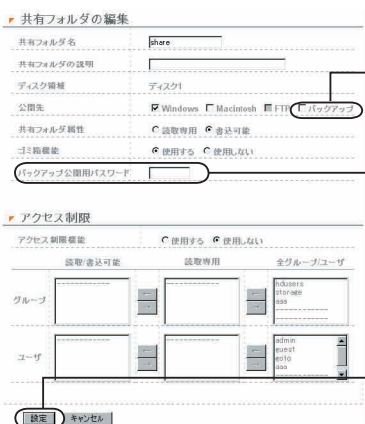
バックアップを行う前に、バックアップ先のフォルダを設定する必要があります。

1 P43 の手順で設定画面を表示します。

2 [共有フォルダ管理]-[共有フォルダ設定] をクリックします。

3

バックアップ先にしたい共有フォルダをクリックします。

4

① [バックアップ] をクリックしチェックマークを表示させせます。

※ ネットワーク経由で他の TeraStation/LinkStation からのバックアップ先にするときは、パスワードを設定することもできます。パスワードを設定したくないときは何も入力しないでください。

② [設定] をクリックします。

次のページへ続く

●他の TeraStation/LinkStation をバックアップ先にするときの設定

バックアップ公開用 (検索用) パスワードを設定している場合

バックアップ先の共有フォルダにパスワードを設定している場合、パスワードを入力しないとバックアップ先として選択することはできません。バックアップを行う前に次の手順でパスードを入力してください。

1 [バックアップ]-[バックアップ設定] をクリックします。

※ネットワーク上の TeraStation/LinkStation を検索するため、画面の表示には 10 秒程度必要です。

2 バックアップ先 TeraStation/LinkStation 共有フォルダに設定したバックアップ公開用パスワードを入力します。

検索時に見つかるバックアップ先フォルダは、パスワードが未設定のフォルダと、認証パスワードが一致したフォルダです。

ルータを越えた TeraStation/LinkStation や VPN で接続されたネットワークの TeraStation/LinkStation にバックアップしたい場合

ルータを越えた TeraStation/LinkStation や VPN で接続されたネットワークの TeraStation/LinkStation にバックアップするときは、バックアップを行う前に次の手順で TeraStation/LinkStation の IP アドレスを入力してください。

1 [バックアップ]-[検索対象アドレス] をクリックします。

※ネットワーク上の TeraStation/LinkStation を検索するため、画面の表示には 10 秒程度必要です。

2 バックアップ先の TeraStation/LinkStation の IP アドレスを入力し、[検索対象の追加] をクリックします。

メモ [バックアップ]-[TeraStation 一覧] では、ネットワークにある TeraStation/LinkStation の一覧が表示されます。一覧画面では、TeraStation/LinkStation 名とスリープ設定されているかを確認することができます。

以下の条件の方は上記の設定は必要ありません。P71 の手順でバックアップを行ってください。

- バックアップ先に他の TeraStation/LinkStation を使用しない
- バックアップ先の TeraStation/LinkStation に検索バックアップ公開用パスワードを設定していない
- バックアップ先にルータを越えた TeraStation/LinkStation や VPN で接続されたネットワークの TeraStation/LinkStation を使用しない

注意 ・JumboFrame をご利用いただいている方で、LinkStation/TeraStation のデータを他の LinkStation/TeraStation にバックアップするときは、2 つの LinkStation/TeraStation のイーサネットフレームサイズを最も近い値に設定してください。イーサネットフレームサイズが大きく異なる場合、正常にバックアップできないことがあります。このようなときは初期設定のフレームサイズ (1518bytes) を選択してください。

次のページへ続く

●バックアップを設定する

1 [バックアップ]-[バックアップ設定] をクリックします。

メモ ネットワーク上の TeraStation/LinkStation を検索するため、画面の表示には 10 秒程度必要です。

2

設定するタスクをクリックします。

メモ バックアップの設定は最大 8 個まで設定できます。ここでは個々の設定をタスクと案内しています。

3

① バックアップ元とバックアップ先フォルダを選択し、[バックアップ対象の追加] をクリックします。

メモ
・バックアップ元フォルダには第二階層のフォルダまで登録できます。ただし、共有フォルダ名を含め、80 文字以上のフォルダは選択できません。
・バックアップ先デバイスあらかじめ P69 の手順でバックアップ先として設定していないと選択することはできません。

4

② P53 に記載のバックアップ設定項目 (実行日、実行時刻など) を選択し、[設定] をクリックします。

●バックアップ先のフォルダを開くには

バックアップ先のフォルダを開くには次の手順で行います。

エクスプローラーなどでバックアップ先に指定したフォルダを開きます。バックアップした日時のフォルダ名で保存されています。

例：2003 年 11 月 7 日 19 時 00 分バックアップ→フォルダ名「0311071900」

※上書きバックアップ時は、日時のフォルダ名ではなく、[_backups] フォルダに保存されています。

FTP サーバ機能を使うとき

TeraStation を FTP サーバとして使用したいときは、次の手順で行います。

メモ FTP サーバ機能は、既に FTP クライアントソフトウェアを持っていて、FTP サーバを利用したことがある方を対象にしています。通常は FTP サーバ機能を使用する必要はありません。

1 P43 の手順で設定画面を表示します。

2 [基本] をクリックします。

3

Anonymous(匿名) で FTP サーバ機能を使用したいとき

※簡易的な FTP サーバとして使用するときに便利です。

4-1 [共有フォルダ管理]-[匿名 FTP 設定] をクリックします。

4-2

① [使用する] をクリックします。
② 匿名ユーザに公開する共有フォルダを選択します。(※ 1)
③ 読取専用にするか書込可能にするかを選択します。(※ 2)
④ [設定] をクリックします。

※ 1 アクセス制限が設定された共有フォルダは選択できません。

※ 2 [書込許可] にすると、読み取り専用属性に設定された共有フォルダにでも書き込みができます。

以上で FTP サーバ機能の設定は完了です。

次のページへ続く

[匿名 FTP] FTP クライアントソフトウェアで TeraStation にアクセスするには

別途 FTP クライアントソフトウェアを用意し、以下の項目を設定してください .
・ホスト名　TeraStation の IP アドレス (P43)
・ユーザ名　anonymous
・パスワード　お客様の電子メールアドレス
・ポート　8021
例　ftp://169.254.11.150:8021/

※ FTP クライアントソフトウェアの使い方についてはソフトウェアのヘルプを参照ください。
※インターネットに FTP サーバを公開したいときは、ルータに付属のマニュアルをよく読みファイアウォールおよびセキュリティ設定を必ずしてください。
※匿名 FTP のユーザに公開したフォルダ以外のフォルダは表示されません。

TeraStation に登録したユーザ名、パスワードで FTP サーバ機能を使用したいとき

4-1 [共有フォルダ管理]-[共有フォルダ設定] をクリックします。

4-2 公開する共有フォルダをクリックします。

4-3 ① [FTP] をクリックします。

② [設定] をクリックします。

以上で FTP サーバ機能の設定は完了です。

次のページへ続く

[登録ユーザ FTP] FTP クライアントソフトウェアで TeraStation にアクセスするには

別途 FTP クライアントソフトウェアを用意し、以下の項目を設定してください .

・ホスト名　TeraStation の IP アドレス (P43)
・ユーザ名　TeraStation に登録しているユーザ名 (P60)
・パスワード TeraStation に登録しているパスワード (P60)
・ポート　21

例　ftp://169.254.11.150/

※FTP クライアントソフトウェアの使い方についてはソフトウェアのヘルプを参照ください。

※ TeraStation の設定で共有フォルダ、USB ハードディスクが読取専用になっていた場合、FTP でも書き込むことはできません。

※ TeraStation の共有フォルダ、USB ハードディスクにアクセス制限が設定されている場合、設定に従いアクセスが制限されます (アクセス権がないユーザからは表示されません)。

※インターネットに FTP サーバを公開したいときは、ルータに付属のマニュアルをよく読みファイアウォールおよびセキュリティ設定を必ずしてください。

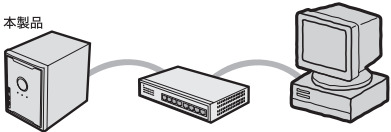
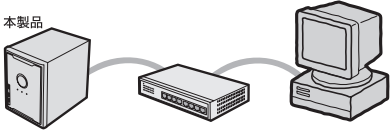
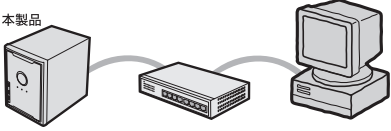
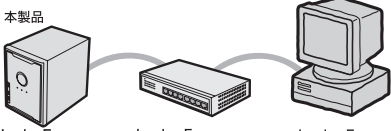
※FTP で接続したとき共有フォルダは以下のように見えます。

スパニング・RAID5・RAID1 構成時

```
/┬array1─share
 ├usbdisk1
 ├usbdisk2
 ├usbdisk3
 ├usbdisk4
 └info
```

RAID1(アレイ 2 個) 構成時

```
/┬array1─share
 ├array2─共有フォルダ
 ├usbdisk1
 ├usbdisk2
 ├usbdisk3
 ├usbdisk4
 └info
```

通常モード構成時

```
/┬disk1─share
 ├disk2─共有フォルダ
 ├disk3─共有フォルダ
 ├disk4─共有フォルダ
 ├usbdisk1
 ├usbdisk2
 ├usbdisk3
 ├usbdisk4
 └info
```

・RAID アレイ 1 は array1、RAID アレイ 2 は array2、TeraStation 内蔵ハードディスクは disk1 ～ 4、USB ハードディスクは usbdisk1 ～ 4 と表示されます。
・usbdisk1 ～ 4 は、USB ハードディスクを接続していないときや、アクセス制限を設定しているときは表示されません。

Jumbo Frame で転送するとき

転送の効率を向上させたいときは、P47 に記載の設定画面でイーサネットフレームサイズ (1 回で転送できるデータの最大サイズ) を Jumbo Frame(4100bytes/7418bytes) に変更してください。

⚠注意
- **Jumbo Frame(4100bytes/7418bytes) を使用して、TeraStation にハブを接続する場合、Jumbo Frame 非対応のスイッチングハブは使用しないでください。使用するとデータの転送ができなくなります。**
- **Jumbo Frame(4100bytes/7418bytes) を使用するには、パソコン (LAN アダプタ) および通信経路上の機器 (スイッチングハブなど) が Jumbo Frame に対応している必要があります。非対応の機器があったときは、通常 (1518bytes) の転送が行われます。**

接続機器	対応	
本製品 Jumbo Frame 4100/7418設定 — Jumbo Frame 対応スイッチングハブ — Jumbo Frame 対応パソコン	○	Jumbo Frame (4100/7418)で転送が行われます。
本製品 Jumbo Frame 4100/7418設定 — Jumbo Frame 対応スイッチングハブ — Jumbo Frame **非対応**パソコン	△	通常(1518)で転送が行われます。
本製品 Jumbo Frame 4100/7418設定 — Jumbo Frame **非対応**スイッチングハブ — Jumbo Frame **非対応**パソコン	△	通常(1518)で転送が行われます。
本製品 Jumbo Frame 4100/7418設定 — Jumbo Frame **非対応**スイッチングハブ — Jumbo Frame 対応パソコン	×	転送することはできません。ご注意ください。

5 付録

出荷時設定

TeraStation は出荷時に以下のように初期設定されています。

●管理者名：admin(変更不可)

●パスワード：

●共有フォルダ：share(Windows ＆ Macintosh 共用)
※共有フォルダのゴミ箱機能は「未使用」に設定されています。

●DHCP クライアント
DHCP サーバがネットワーク内にある場合は自動取得します。
DHCP サーバがネットワーク内に無い場合は、次のように自動設定されます。
IP アドレス：169.254.xxx.xxx (下線部は製品によって異なります。)
ネットマスク：255.255.0.0

●登録グループ
初期設定にて既に TeraStation には、デフォルトグループ (hdusers) が登録されています。
編集、削除はできません。

●Microsoft ネットワークワークグループ設定
WORKGROUP
※簡単セットアップを実行すると、設定を行うパソコンのワークグループと同じワークグループになります。

●AppleShare ネットワークゾーン設定：　なし (空白)

●イーサネットフレームサイズ：　1518bytes

●Appletalk 機能：使用する

●FTP サーバ機能：　使用しない

●NTP 機能：　使用しない

●プリンタ共有機能：　使用する

●RAID モード：　RAID5 モード

メモ 出荷時設定に戻すときは、P67「設定の初期化手順」を参照ください。

ハードディスクが故障する前に

RAID エラーが発生したとき、データ保護のため自動的にシャットダウンするよう次の手順で設定することができます (RAID1/RAID5 モード時のみ。スパニング / 通常モードでは機能しません)。

1 **P43 の手順で設定画面を表示します。**

2 **[ディスク管理]-[RAID 設定] をクリックします。**

3

RAIDアレイ障害設定
RAIDアレイ障害発生時にシャットダウンを行う　行う　行わない
設定

① [RAID アレイ障害発生時にシャットダウンを行う] の項目で [行う] を選択します。
② [設定] をクリックします。

以上で設定は完了です。

⚠注意 RAID アレイが修復不可能なとき (2 台以上ハードディスクが故障など) は、シャットダウンしません。

ハードディスクが故障したら

● RAID1 モードまたは RAID5 モードでお使いのとき
データ保護のため、P76 を参照して RAID アレイ障害発生時に自動的にシャットダウンするよう設定することをおすすめします。
故障したハードディスクの STATUS/FULL ランプが赤色点滅していますので、TeraStation の電源を OFF にし、P78 の手順にしたがってハードディスクを交換してください (STATUS/FULL ランプは修復後、緑点灯になります)。交換しないと何度起動しても自動的にシャットダウンします。

●通常モードでお使いのとき
通常モード時は、RAID アレイ障害発生時にシャットダウンするよう設定できません (データは保護されません)。故障したハードディスクの STATUS/FULL ランプが赤色点滅していますので、TeraStation の電源を OFF にし、P78 の手順にしたがってハードディスクを交換してください (STATUS/FULL ランプは修復後、緑点灯になります)。

●スパニングモードでお使いのとき
スパニングモードで故障した時は、全てのハードディスクの STATUS/FULL ランプが赤色点滅します。ハードディスクを交換しても修復することはできません。別紙「はじめにお読みください」に記載の修理センターへ修理をご依頼ください (ハードディスク内のデータは消去されます)。

ハードディスクの交換方法

TeraStation 前面の DISK1 ～ 4 の STATUS/FULL ランプが赤色に点滅していた場合、点滅している DISK 番号のハードディスクドライブが故障しています。このようなとき、別途ハードディスクを用意し、故障したハードディスクと交換することができます (故障したハードディスクの容量より小さいハードディスクには対応しておりません)。ハードディスクの交換は以下の手順で行ってください。以下の説明は取り外す場合の手順です。ハードディスクの交換後、元どおりに組み立てる場合は、取り外したときの逆の手順で行なってください。また、取り付け時に注意すべきポイントがある場合は、各手順の中で<取り付ける場合>として説明してありますので、必ずご参照ください。

⚠注意
- TeraStation は精密な機器です。落としたり衝撃を与えないよう慎重に作業を行なってください。
- TeraStation は 7 ～ 8kg の重量があります。落としてけがすることがないよう慎重に作業を行なってください。
- TeraStation 内部の金属部分で手をけがしないよう慎重に作業を行なってください。
- ハードディスクを交換する場合は、TeraStation を分解する必要がありますが、本書で指示されていない部分は絶対に分解しないでください。TeraStation の分解によって生じた故障や破損は、弊社の保証対象外となりますので、あらかじめご了承ください。
- 静電気による破損を防ぐため、身近な金属 (ドアノブやアルミサッシなど) に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。

1 ケーブル類をすべて取り外し、本体を裏返します。

パソコン→周辺機器の順に電源を OFF にして、ケーブル類をすべて取り外します。本製品を安定した場所に置き、本体を裏返します。

2 足を取り外します。

足を止めてあるネジ (各 1 本）を外し、4 個すべての足を取り外します。

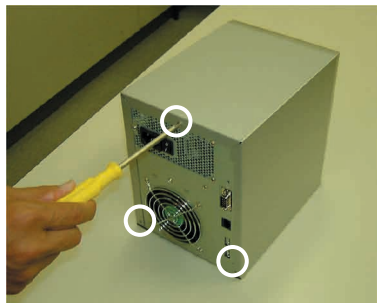
<取り付ける場合>
- 足の裏側にある出っ張りをカバーの切り欠きに合わせてください。
- ネジが固定できないときは、P80 手順 8 のネジをゆるめて調整してください。

使用ネジ：
M3 ネジ 6mm × 4 本

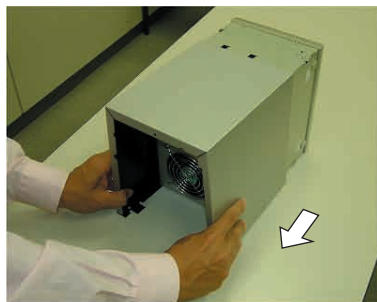
次のページへ続く

3 背面のネジ (3 箇所) を外します。

裏返してある本体を元にもどし、背面にあるネジ（1 ヶ所）を外します。

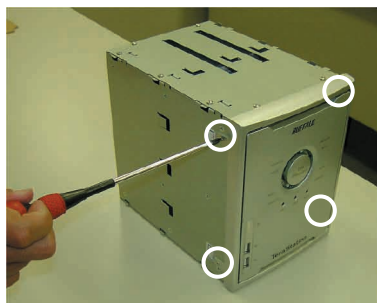
使用ネジ：
M3 ネジ 4mm × 3 本

4 本体のカバーを取り外します。

本体のカバーを、背面方向にスライドさせながら取り外します。

⚠注意 **カバーの下を持ち、外側に少し開きながら取り外します。**

5 フロントパネルを取り外します。

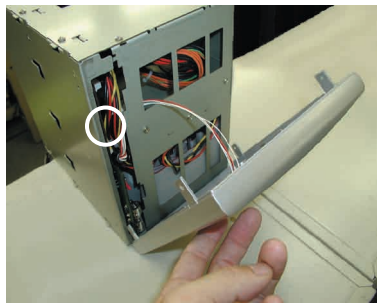
左右のあるネジ（各 2 箇所）を外し、フロントパネルを取り外します。

＜取り付ける場合＞
フロントパネルを取り付けるときは、ケーブルをはさみ込まないように注意してください。
ねじは強くしめないでください。強くしめるとフロントパネルのプラスチックを破損する恐れがあります。

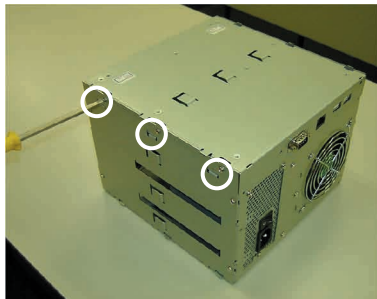
使用ネジ：
M2.5 さらネジ 4 ～ 6mm × 4 本

次のページへ続く

6 LED ケーブルを取り外します。

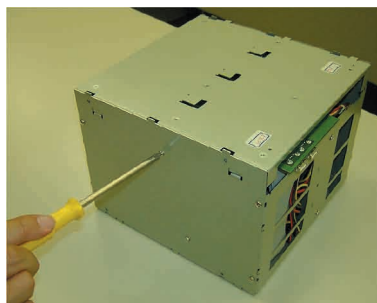
本体の基板のコネクタに接続されている LED ケーブルを取り外します。

<取り付ける場合>
LED ケーブルは写真のように筐体の穴を通してから基板のコネクタに取り付けてください。

7 サイドパネル止めネジ（上面側）を取り外します。

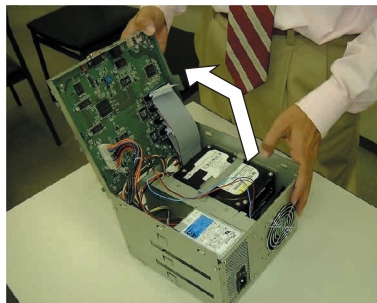
上面側にあるネジ（3 箇所）を外します。

使用ネジ：
M3 ネジ 4mm × 3 本

8 サイドパネル止めネジ（底面側）を取り外します。

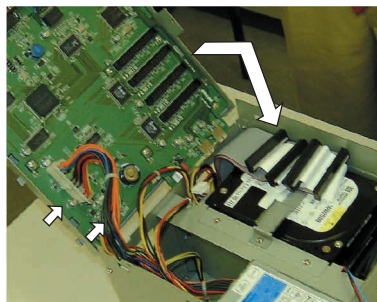
底面側にあるネジ（1 箇所）を外します。

使用ネジ：
M3 ネジ 6mm × 1 本

次のページへ続く

9 サイドパネルを前面側に起こします。

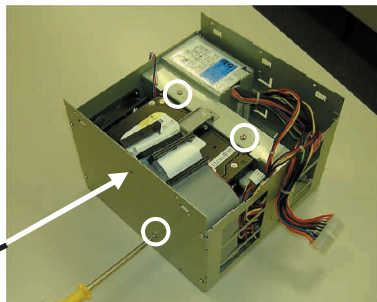
<取り付ける場合>
サイドパネルを取り付けるときは、ケーブルをはさみ込まないように注意してください。

10 メイン基板に接続されているケーブルをすべて取り外します。

サイドパネル裏面のメイン基板に接続されているフラットケーブル・電源ケーブル・ファンケーブルをすべて取り外し、サイドパネルを外します。

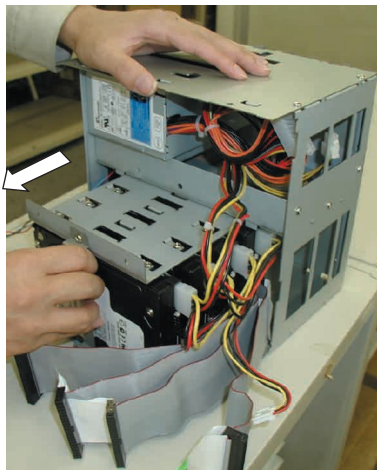
<取り付ける場合>
コネクタの抜けがないようにしっかりと取り付けてください。

11 ハードディスクユニット止めネジ(3箇所)を取り外します。

上面側にあるハードディスクユニット止めネジ（3箇所）を取り外します。

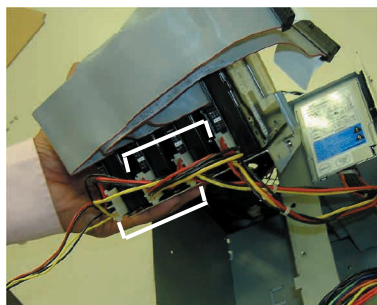
使用ネジ：
M3 ネジ 4mm × 3 本

<取り付ける場合>
このときこの穴にはネジを入れません。間違えてネジを付けるとサイドパネルが取り付けられなくなります。

次のページへ続く

12 本体を立ててハードディスクユニットを横に引き抜きます。

<取り付ける場合>
フラットケーブルに折りぐせがついていますので、折りぐせに合わせてしっかり押さえながら取り付けてください。またケーブルのはさみ込にご注意ください。

13 ハードディスクの電源ケーブルを取り外します。

ハードディスクに接続されている電源ケーブル（4台分すべて）を取り外します。

<取り付ける場合>
本体の電源ユニットから出ている電源ケーブルは2本あります。1本の電源ケーブルに対して写真のよう(長い方が奥)に各2台のハードディスクに接続します。

14 ハードディスク止めネジを取り外します。

ハードディスクユニットを安定した場所に横にして置き、フロントパネルのLEDに対応したDisk番号を確認します。
交換したいハードディスクの止めネジ（反対側も含め計4本）を取り外します。

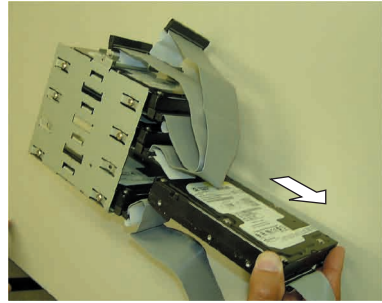
使用ネジ：
インチネジ4mm × 4本

ハードディスクのDisk番号が記載されています。赤点滅したSTATUS/FULLランプの番号のハードディスクを取り外します。

次のページへ続く

15 ハードディスクを引き抜きます。

ハードディスクをゆっくりと引き抜きます。

⚠注意 衝撃を与えないように慎重に行なってください。

16 新しいハードディスクに交換します。

フラットケーブルを取り外し、新しいハードディスク取り付けます。

> **<取り付ける場合>**
> ハードディスクのマニュアルを参照して、ハードディスクが 1 台だけの場合のジャンパスイッチ設定 (「Single」または「Master」) にしてください。
> ケーブルの抜けがないようにしっかりと取り付けます。

17 取り外した逆の手順で元どおりに組み立てます。

取り付け時に注意すべきポイントがある場合は、各手順の中で<取り付ける場合>として説明してありますので、必ずご参照ください。

18 ケーブル類をすべて元の状態に接続し、TeraStation の電源を ON にします。

19 P43 の手順で TeraStation の設定画面を表示します。

20 トップ画面に表示されているエラー情報をクリックします。

21 以降は画面の指示にしたがってハードディスクの構成を復旧してください。

以上でハードディスクの交換は完了です。

困ったときは

メモ 最新のQ&Aの情報は、弊社ホームページ(buffalo.jp)をご参照ください。

TeraStationを設定するためのパスワードを忘れた

TeraStation背面の設定初期化スイッチを押すことで出荷時設定に戻すことができます。【P67】
出荷時設定に戻した後に再度パスワードの設定を行ってください。
※初期化スイッチを押すとパスワード以外の設定も初期化されます。
※P59の画面で[初期化しない]を設定すると、パスワードが初期化できません(パスワードを忘れた場合、TeraStationの設定を変更できません)。パスワードは忘れないように書き留めておいてください。

MacintoshとWindowsで共有したファイルやフォルダ名に文字化けが発生する

MacintoshとWindowsで共有するときは、全角文字が正常に表示されないことがあります。【P7】

Macintoshでファイルが見えない(AppleTalk接続時)

Macintoshでは半角32文字以上の名前のファイルを見ることはできません。WindowsとMacintoshでファイル共有するときは半角文字32文字以内にしてください。
またファイルの容量が2GB以上の場合も、Macintoshで見えないことがあります。

ファイルの操作(コピー/消去/移動)ができなくなった

ファイル名が非常に長いとOSによっては、ファイルの操作ができないことがあります。

共有フォルダやファイルに属性を設定できない

TeraStationに作成した共有フォルダやファイルに属性(隠し/読取専用)を設定することはできません。

作成した覚えのないファイルが生成されている

Macintoshからアクセスされた共有フォルダには情報ファイルが自動的に生成されることがあります。これらをWindowsから削除した場合、Macintoshからアクセスできなくなることがありますのでご注意ください。

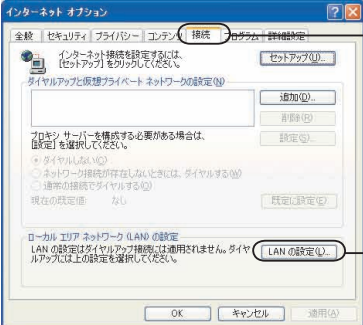
TeraStationがDHCPクライアントとして動作していない

TeraStationの電源スイッチをONにしてからLANケーブルを接続すると固定IPアドレス(出荷時設定)でTeraStationは動作します。【P76】
LANケーブルを接続してからTeraStationの電源スイッチをONにしてください。

TeraStationに内蔵されているハードディスクの回転が停止しない

TeraStationには、30分アクセスがないと自動的にハードディスクの回転を停止する機能がありますが、次の環境では回転が停止しないことがあります。

・一部のパソコン(Macintoshなど)で共有フォルダをマウントしていると、定期的にハードディスクにアクセスするため回転が停止しないことがあります。
・TeraStationにプリンタを接続している場合、プリンタと通信しているため回転が停止しないことがあります。

ブラウザで設定画面を表示できない、正常に表示されない

・LAN ケーブルが接続されていない
TeraStation の LAN ポートに LAN ケーブルを接続してください。

・TeraStation の電源が OFF になっている
TeraStation の電源ランプが点灯しているかご確認ください。点灯していないときは、電源ケーブルをコンセントに接続し、電源スイッチを押してください。

・パソコンがネットワークに接続されていない
設定を行うパソコンがネットワークに接続されているかご確認ください。TeraStation がネットワークに接続されていても、パソコンもネットワークに接続されていないと設定画面は表示されません。

・ネットワークアダプタが正常にインストールされていない
ネットワークアダプタのマニュアルを参照してドライバを再インストールしてください。

・「HDD エラー」と表示され、何も設定ができない
画面の指示に従って TeraStation を再起動してください。再起動しても同じ画面が表示されるときは、画面の指示に従ってハードディスク情報の再構成、またはフォーマットしてください。

・ブラウザの設定で、プロキシが有効に設定されている
ブラウザのヘルプを参照してプロキシを使用せずに直接接続するように設定を変更してください。

ここでは、Internet Explorer6 のプロキシを無効にする設定例を説明します。

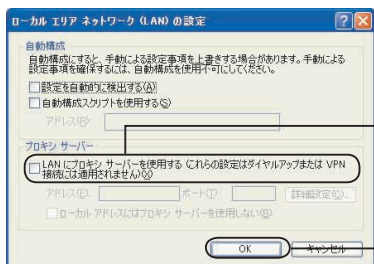
< Internet Explorer6 の例 >

1 Internet Explorer を起動します。

2 メニューから [ツール]-[インターネットオプション] を選択します。

3

次のページへ続く

4

① [プロキシ サーバー] のチェックボックスにチェックマークが無いことをご確認ください。チェックマークがあるときは、クリックしてチェックマークを消してください (※)。

② [OK] をクリックします。

以上でプロキシを無効にできました。

プロバイダの指示でプロキシを有効にしなければ、インターネットを閲覧できないときは、TeraStation の設定を完了した後に、プロキシを有効に戻してください。

※ [プロキシサーバー] のチェックマークを外したくないときは

1.[プロキシサーバー] 欄の [詳細] をクリックします。

2.[次で始まるアドレスにはプロキシを使わない] 欄に P43 手順 2 で確認できる TeraStation の IP アドレスを入力し、[OK] をクリックします。

Mac OS や Windows98SE/98/95 から登録したユーザでアクセスできない

TeraStation に登録するユーザのユーザパスワードは、Windows98SE/98/95 をお使いの方は半角英数 15 文字以上にしないでください。Mac OS をお使いの方は半角英数 9 文字以上にしないでください。TeraStation の共有フォルダにアクセスできなくなります。TeraStation のユーザ設定画面からパスワードを半角英数 14 文字以下 (Mac OS では半角英数 8 文字以下) に変更してください。

TeraStation の DIAG ランプが点滅したままの状態が続く

TeraStation に異常があるとき DIAG ランプが点滅した状態のままになります。点滅は、電源 OFF 時に電源スイッチを押すまで繰り返されます。点滅のしかたによって異常の種類が分かります。

1 回連続点滅 (4 秒間隔) を繰り返す：
RAID エラーです。RAID 設定に異常があります。P30 を参照して RAID を設定してください。

4 回連続点滅 (4 秒間隔) を繰り返す：
ファンに異常があります。
ファンの通風に邪魔になっているものがないかご確認ください。ファンが停止していると TeraStation は起動しません。ご確認後も再現するときは修理センターへお送りください。
【別紙「はじめにお読みください」】

5 回連続点滅 (4 秒間隔) を繰り返す：
Flash ROM の内容 (データ) に異常があります。
電源スイッチを押して TeraStation を再起動しても再現するときは修理センターへお送りください。
【別紙「はじめにお読みください」】

6 回連続点滅 (4 秒間隔) を繰り返す：
ハードディスク上のシステム領域が不正です。電源スイッチを押して TeraStation を再起動しても再現するときは修理センターへお送りください。
【別紙「はじめにお読みください」】

7 回連続点滅 (4 秒間隔) を繰り返す：
RAM・LAN・ハードディスクコントローラーに異常があります。
電源スイッチを押して TeraStation を再起動しても再現するときは修理センターへお送りください。
【別紙「はじめにお読みください」】

※DIAG ランプは、設定初期化時、ファームウェアアップデート時に電源ランプ、DISK FULL ランプと同時に点滅します。設定初期化時、ファームウェアアップデート時は、絶対に電源スイッチを OFF にしないでください。

クライアントユーティリティなどで TeraStation が認識できない

・付属ユーティリティのバージョンが古い
最新のユーティリティを弊社ホームページ (buffalo.jp) からダウンロードし、インストールしてください。バージョンが古いと最新の OS に対応していないことがあります。

・LAN ケーブルが接続されていない
TeraStation の LAN ポートに LAN ケーブルを接続してください。

・TeraStation の電源が OFF になっている
TeraStation の電源ランプが点灯しているかご確認ください。点灯していないときは、電源ケーブルをコンセントに接続し、電源スイッチを押してください。

・パソコンがネットワークに接続されていない
設定を行うパソコンがネットワークに接続されているかご確認ください。TeraStation がネットワークに接続されていても、パソコンもネットワークに接続されていないと設定画面を表示させることはできません。

・ネットワークアダプタが正常にインストールされていない
ネットワークアダプタのマニュアルを参照してドライバを再インストールしてください。

・TeraStation の IP アドレスと他のネットワーク機器の IP アドレスが競合している
お使いのネットワークに DHCP サーバが無い場合､TeraStation の IP アドレスは出荷時設定 (P76) に固定されます。この IP アドレスが他の機器で使用していると認識できません。

ここでは、パソコン本体の IP アドレスを確認する手順を説明します。同じ IP アドレスが使用されていたときは、別のパソコンから P29 を参照して TeraStation の IP アドレスを変更してください。

< WindowsXP/2000/NT4.0 での IP アドレス確認手順例 >

1 以下のメニューをクリックして、コマンドプロンプトを起動します。

WindowsXP/2000： [スタート]-[(すべての) プログラム]-[アクセサリ]-[コマンドプロンプト] を選択します。
WindowsNT4.0： [スタート]-[プログラム]-[コマンドプロンプト] を選択します。

2 画面に「C:\>」と表示されます。

「IPCONFIG /ALL」と入力し、<ENTER> キーを押します。

次のページへ続く

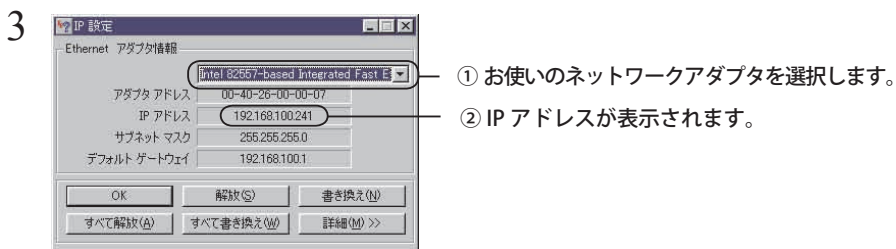
3 「IP Adress」欄に、IP アドレスが表示されます。

Ethernet adapter ローカルエリア接続	
IP address	：169.254.0.2 ―パソコンの IP アドレス
Subnet Mask	：255.255.0.0
Connection-specific DNS Suffix	：

< WindowsMe/98SE/98/95 での IP アドレス確認手順例 >

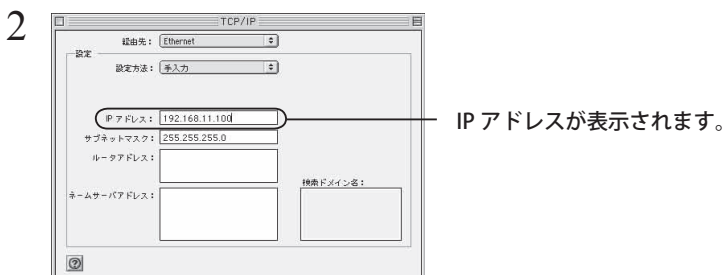
1 [スタート]-[ファイル名を指定して実行] を選択します。

2 「WINIPCFG」と入力し、[OK] をクリックします。

3

< Mac OS 8.6 ～ 9.2.2 での IP アドレス確認手順例 >

1 アップルメニューから [コントロールパネル]-[TCP/IP] をクリックします。

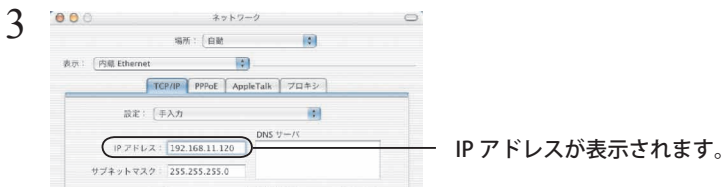
2

IP アドレスが表示されます。

< Mac OS X 10.0.4 での IP アドレス確認手順例 >

1 [アップルメニュー]-[システム環境設定 ...] をクリックします。

2 [ネットワーク] アイコンをクリックします。

3

IP アドレスが表示されます。

< Mac OS X 10.3 ～ 10.4 での IP アドレス確認手順例 >

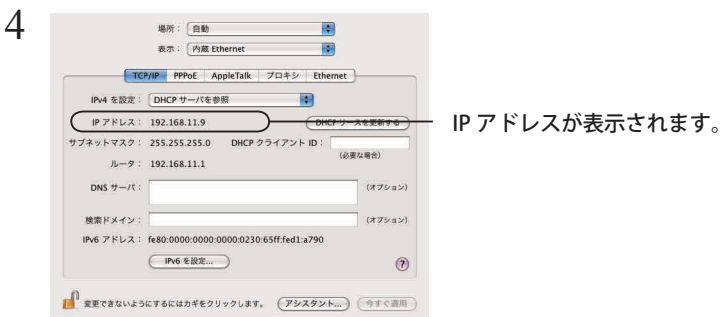
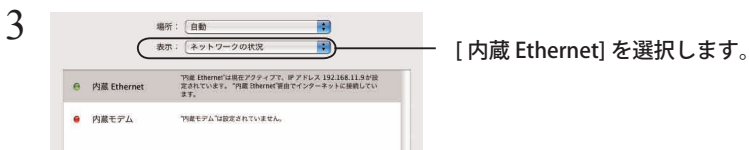
1 [アップルメニュー]-[システム環境設定 ...] をクリックします。

2 [ネットワーク] アイコンをクリックします。

3

[内蔵 Ethernet] を選択します。

4

IP アドレスが表示されます。

・Windows またはソフトのファイアウォール機能がはたらいている
ファイアウォールの機能が有効となっている場合、TeraStation が認識できないことがあります。この場合は、ファイアウォール機能を無効にするか、ファイアウォールを設定しているソフトをアンインストールしてください。設定に関する手順については、ソフトメーカーにお問い合わせください。

【トレンドマイクロ社ウイルスバスター 2006 ファイアウォール無効手順】
以下の手順で「パーソナルファイアウォール機能」を無効にしてください。
本製品の使用が完了したら、再度「パーソナルファイアウォール」を有効にしてください。

1. 画面右下のタスクトレイ内に表示される「ウイルスバスター 2006 」アイコンを右クリックし、表示されるメニューから［メイン画面を起動］をクリックします。
2. メイン画面内の［不正侵入対策 / ネットワーク管理］をクリックし、カテゴリ画面から［パーソナルファイアウォール］をクリックします。
3.「パーソナルファイアウォール」画面より［パーソナルファイアウォールを有効にする］のチェックボックスをクリックし、チェックの表示を消します。
4.［適用］をクリックし、メイン画面を終了します。

以上で設定は完了です。

【Norton Internet Security 2006 ファイアウォール無効手順】
以下の手順で Norton Internet Security を無効にしてください。
本製品の使用が完了したら、再度「Norton Internet Security」を有効にしてください。
1. 画面右下のタスクトレイ内に表示される「Norton Internet Security 2006」アイコンを右クリックし、表示されるメニューから［Norton Internet Security を無効にする］をクリックします。
2. ファイアウォール機能をオフにする期間を選択し、［OK］をクリックします。

以上で操作は完了です。

【WindowsXP SP2(サービスパック 2) ファイアウォール無効手順】
以下の手順で Windows ファイアウォールを無効にしてください。
本製品の使用が完了したら、再度「Windows ファイアウォール」を有効にしてください。
1.［スタート］－［コントロールパネル］をクリックし開きます。
2.［セキュリティセンター］をクリックします。
※コントロールパネルをクラシック表示にしている場合、［セキュリティセンター］項目はありません。手順 3 へ進みます。
3.［Windows ファイアウォール］をクリックします。
4.「無効（推奨されません）」にチェックを入れ、［OK］をクリックします。

以上で操作は完了です。

【トレンドマイクロ社ウィルスバスター 2004 ファイアウォール無効手順】
以下の手順で「パーソナルファイアウォール機能」を無効にしてください。

1. ［スタート］－［(すべての) プログラム］－［トレンドマイクロウィルスバスター 2004］－［メイン画面］を選択します。
2. 右側にある [パーソナルファイアウォール] タブをクリックします。
3. [パーソナルファイアウォール設定] をクリックします。
4. [パーソナルファイアウォールを有効にする] をクリックし、チェックマークを非表示にします。
5. [適用] をクリックします。

以上で設定は完了です。

【 Norton Internet Security 2004 ファイアウォール無効手順】
以下の手順で「パーソナルファイアウォール機能」を無効にしてください。
1. [スタート]-[(すべての) プログラム]-[Norton Internet Security Professional]-[Norton Internet Security Professional] を選択します。
2. [ファイアウォール] をクリックします。
3. [無効にする] をクリックします。

以上で設定は完了です。

TeraStation の共有フォルダにアクセスできない

・設定画面で共有フォルダのアクセス権を設定すると、許可したユーザからのみアクセスできるようになります。許可していないユーザをアクセスできるようにするには設定を変更してください。

・Windows のネットワークにログインしたユーザ名、パスワードが、TeraStation の共有フォルダに設定されているユーザ名、パスワードと同一のものでないと共有フォルダにアクセスすることはできません。

・WindowsMe/98SE/98/95 をお使いの場合、ログオンするネットワークの設定がファミリーログオンになっていると共有フォルダにアクセスできません。そのようなときは次の手順でログオンするネットワークを設定してください。

1 **[ネットワークコンピュータ] アイコンを右クリックし、表示されたメニューから [プロパティ] をクリックします。**

2 **[優先的にログオンするネットワーク (Windows95 では「優先的にログオンする」)] から「Microsoft ネットワーククライアント」を選択し、[OK] をクリックします。**

※選択肢に「Microsoft ネットワーククライアント」が無い場合は、[追加] － [クライアント] － [Microsoft ネットワーククライアント] － [OK] をクリックしてください。Windows の CD-ROM が要求されるメッセージが表示されたら画面の指示に従って CD-ROM ドライブに CD を挿入してください。

以上でログオンするネットワークの設定は完了です。

次のページへ続く

・WindowsXP/2000/NT4.0 をお使いの場合、ユーザ名とパスワードの入力を求める画面が表示されますが、入力しても共有フォルダにはアクセスできません。必ず、TeraStation の共有フォルダに設定されているユーザ名、パスワードで Windows にログインしてください。

ここでは、ネットワークログイン名とパスワードの作成の手順を説明します。

< WindowsXP でのユーザ名とパスワード作成手順例 >

1 [スタート]-[コントロールパネル] を選択します。

2 [ユーザーアカウント] アイコンをダブルクリックします。

3 [新しいアカウントを作成する] をクリックします。

4 [新しいアカウントの名前の入力]に、TeraStationの共有フォルダに設定したユーザ名と同じユーザ名を入力し、[次へ] をクリックします。

5 [コンピュータの管理者] を選択し、[アカウントの作成] をクリックします。

6 「変更するアカウントを選びます」から、新しく作成したアカウントをクリックします。

7 [パスワードを作成する] をクリックします。

8 [新しいパスワードの入力] に、TeraStation の共有フォルダに設定したパスワードと同じパスワードを入力し、[パスワードを作成] をクリックします。

< Windows2000 でのユーザ名とパスワード作成手順例 >

1. [スタート]-[設定]-[コントロールパネル] を選択します。

2. [ユーザーとパスワード] アイコンをダブルクリックします。

3. [追加] をクリックします。

4. [ユーザー名] に、TeraStation の共有フォルダに設定したユーザ名と同じユーザ名を入力し、[次へ] をクリックします。

5. [パスワード] に TeraStation の共有フォルダに設定したパスワードと同じパスワードを入力し、[次へ] をクリックします。

6. [標準ユーザー] を選択し、[完了] をクリックします。

< WindowsMe/98SE/98/95 でのユーザ名とパスワード設定 >

Windows 起動時の [ネットワークとパスワードの入力] 画面で、TeraStation の共有フォルダに設定したユーザ名とパスワードを入力してください。

< WindowsNT4.0 でのユーザ名とパスワード設定 >

WindowsNT4.0 のユーザ登録を済ませている場合は、そのユーザ名とパスワードを TeraStation に設定してください。

ユーザー登録をまだしていない方は TeraStation の共有フォルダに設定したユーザ名とパスワードを登録してください ([スタート]-[プログラム]-[管理ツール]-[(ドメイン) ユーザマネージャ])

< Mac OS 8.6 ～ 9.2.2 でのユーザ名とパスワード設定 >

アップルメニューから [セレクタ]-[Apple Share]-[TeraStation の名称] を選択し、[接続] をクリックすると、登録利用者の名前とパスワードを入力する画面が表示されます。
TeraStation の共有フォルダに設定したユーザ名とパスワードを入力してください。

< Mac OS X でのユーザ名とパスワード設定 >

[移動]-[サーバへ接続 ...] で TeraStation の IP アドレスを設定後、[接続] をクリックすると、登録ユーザの名前とパスワードを入力する画面が表示されます。
TeraStation の共有フォルダに設定したユーザ名とパスワードを入力してください。

クライアントユーティリティで確認できても TeraStation が認識できない

TeraStation に割り当てられた IP アドレスによっては、クライアントユーティリティで TeraStation を確認できても使用できないことがあります。そのようなときは次の手順を行ってください。

1 **コマンドプロンプトの画面を表示させます。表示のさせ方は Windows によって異なります。**

WindowsXP/2000:[スタート] ー [(すべての) プログラム] ー [アクセサリ] ー [MS-DOS プロンプト]
WindowsMe：[スタート] ー [プログラム] ー [アクセサリ] ー [MS-DOS プロンプト]
Windows98/95:[スタート] ー [プログラム] ー [MS-DOS プロンプト]
WindowsNT4.0：[スタート] ー [プログラム] ー [コマンドプロンプト]

2 **コマンドプロンプトの画面 (C:\WINDOWS> など) が表示されたら、「ping 169.254.11.150」を入力して、<Enter> キーを押します。**

※下線部は TeraStation の IP アドレスです。環境によって入力する値は異なります。P43 の手順 2 でメモをした IP アドレスを入力してください。

```
Microsoft(R) Windows 98
   (C)Copyright Microsoft Corp 1981-1999.

C:¥WINDOWS>ping 192.168.100.158

Pinging 192.168.100.158 with 32 bytes of data:

Reply from 192.168.100.158: bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 192.168.100.158: bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 192.168.100.158: bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 192.168.100.158: bytes=32 time<10ms TTL=255

Ping statistics for 192.168.100.158:
    Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss),
Approximate round trip times in milli-seconds:
    Minimum = 0ms, Maximum =  0ms, Average =  0ms

C:¥WINDOWS>
```

3 **正常に接続されているときは、「Reply from 169.254.11.150: byte=32 time=1ms TTL=255」等表示されます。**

「Reply from 〜」と表示されないときは、P29 の手順で TeraStation の IP アドレスを変更してください。

コマンドプロンプトの画面を終了するときは､「exit」と入力して <Enter> キーを押します。

TeraStation に接続したプリンタから印刷できない (Windows)

双方向通信機能を使用した印刷方式には対応していません。使用しているプリンタの双方向通信機能を無効にしてください。

WindowsMe/98SE/98/95 の場合

1 [スタート] − [設定] − [プリンタ] を選択します。

2 [プリンタ] アイコンを選択し、[ファイル] − [プロパティ] を選択します。

3 [詳細] タブをクリックして、[スプールの設定] をクリックします。

4 「このプリンタの双方向通信機能をサポートしない」にチェックをつけます。

WindowsXP の場合

1 [スタート] − [コントロールパネル] を選択します。

2 [プリンタとその他のハードウェア] をダブルクリックします。

3 [プリンタと FAX] をダブルクリックします。

4 [プリンタ] アイコンを選択して、[ファイル]-[プロパティ] を選択つけます。

5 [詳細] タブをクリックして、[スプールの設定] をクリックします。

6 「このプリンタの双方向通信機能をサポートしない」にチェックをつけます。

WindowsNT4.0 の場合

1 [スタート] − [設定] − [プリンタ] を選択します。

2 [プリンタ] アイコンを選択し、[ファイル] − [プロパティ] を選択します。

3 [ポート] タブをクリックして、「双方向サポートを有効にする」のチェックをはずします。

TeraStation に接続したプリンタから印刷できない

TeraStation に内蔵のハードディスクをプリンタスプール領域として使用しています。ハードディスクの空き容量が印刷バッファデータより少ないとスプール機能が働かず印刷できないことがあります。このようなときは、データを整理して空き容量を確保してください。

プリンタが認識できない

P50[プリントサーバ設定] が「使用する」になっていないと TeraStation に接続したプリンタは認識されません。「使用しない」に設定されていたときは、「使用する」を選択し、[設定] をクリックしてください。

プリンタのステータスが取得できない

TeraStation は双方向通信に対応していないため、プリンタのステータス (インク残量など) は取得できません。

共有フォルダのデータを削除しても容量が変わらない

TeraStation の共有フォルダにゴミ箱機能が有効に設定されていると、削除したデータは共有フォルダの [trashbox] フォルダに移動されます。【P59】

共有フォルダのゴミ箱のデータを消去したい

ゴミ箱 [trashbox] フォルダのデータを選択し、<Delete> キーを押すと消去されます。

FTP フォルダにアップロードしたデータが壊れている

- お使いのパソコンによっては、FTP クライアントソフトウェアの通信設定で、[バイナリーモード] にしておかないと、アップロードしたデータから改行コードが削除されることがあります。
- お使いの OS によっては日本語のファイル名が正常に表示されないことがあります。

NTP 機能が使用できない

ネットワークが外部に接続されていない可能性があります。外部の NTP サーバにアクセスできる環境が必要です。また、Proxy サーバ経由で外部にアクセスするようなネットワーク環境では、外部の NTP サーバにアクセスできないため NTP 機能を使用することはできません。

用語集

AFP(Apple Filing Protocol)

AppleTalk によるネットワークで、ファイル共有を実現する AppleShare で利用されるプロトコルの名称。

AppleShare

Apple 社純正のファイルサーバ機能や、ファイルおよびアプリケーションの共有機能を提供するネットワーク用ソフトウェア。

AppleTalk

Mac OS に標準搭載のネットワーク機能。ファイル共有やプリンタ共有などのサービスを提供する。

DHCP サーバ

DHCP サーバはネットワークに関連した情報（IP アドレス、デフォルト・ルータの IP アドレスなど）を管理する。DHCP クライアントが起動すると、自動的に IP アドレスなどの情報を割り振る。DHCP サーバがネットワーク上に存在すると、ネットワーク上のパソコンや AirStation に、IP アドレスなどを手動で設定する必要がなくなる。

DNS

コンピュータ名やドメイン名 を、それぞれに対応した IP アドレスに変換するシステム。

FTP(File Transfer Protocol)

TCP/IP で構成されたネットワークでファイルを転送するために使われるプロトコル。FTP クライアントソフトウェアを使用して転送を行う。OS の種類に関係なく転送ができます。

IP アドレス

TCP/IP プロトコルによるネットワークで使用されるアドレス。各コンピュータの住所を示す整理番号のようなもの。ネットワーク機器の IP アドレスが重複していると正常に認識されない。

Jumbo Frame

一回で転送できる LAN 上のデータサイズを従来の 1518bytes から Jumbo Frame(4100bytes/7418bytes) に拡張して転送速度を向上させることができます。

MAC アドレス

ネットワークカードごとの固有の物理アドレス。先頭からの 3bytes のベンダコード（メーカーの ID）と、残り 3bytes のユーザコードの 6bytes で構成される。Ethernet ではこのアドレスを元にフレームの送受信を行う。

NTP(Network Time Protcol)

ネットワークを通じて時刻修正を行うプロトコル。定期的に NTP サーバの時刻と同期させて修正を行います。

RAID(Redundant Arrays of Inexpensive Disks)
複数のハードディスクを用いてアクセスを分散させせることにより、大容量で信頼性の高い記憶装置を実現するための技術。RAID はその機能によって、いくつかのレベルに分けることができる。代表的なレベルとして RAID-1 や RAID-5 などがある。

RAID1
2 台のディスクにまったく同じデータを同時に書きこむ方式 (ミラーリング)。片方が破損しても、もう一方からデータを読み出せるのでシステムは問題無く稼動しつづけることができる。

RAID5
複数のハードディスクにデータを分散して書き込むことで速度性能を向上させ、同時にデータの信頼性を確保するためにパリティ情報を全てのドライブに分散して埋め込まれている。もし、どれか 1 台のハードディスクが破損しても、残りのハードディスクにある情報を基にして修復ができる。

UPS(Uninterruptible Power Supply)
無停電電源装置。バックアップ用の電池を内部に持ち、停電時でもシステムを数分間稼働させてシステムを安全にシャットダウンできるようにする装置。UPS によっては内部に発電機を持ち、システムを数日にわたって稼働できるものもある。

SMB(Server Message Block)
ファイル共有やプリンタ共有のサービスを提供するプロトコル。

TCP/IP
ネットワークを構築する際のプロトコル (通信規約) の一つ。TCP プロトコル (データ分割および誤り検出) と IP プロトコル (宛先や発信元 IP アドレスの付与) を組み合わせたもの。

WINS
WindowsNT ネームサーバ機能。Windows ネットワーク環境でホスト名やドメイン名を IP アドレスに自動的に割り当てる。

ゲートウェイ

ネットワークとネットワークを結ぶ機器・パソコン・ソフトウェア。パケットが LAN の外に出て行くときに通過する。

サブネットマスク

IP アドレスを、ネットワークアドレス番号とホストアドレス番号に分けるための値。ルータがパケットを送受信するために用いる。

スパニング (JBOD/Just Bunch Of Disks)

複数のハードディスクを 1 つの大容量ディスクとして扱う技術。

ジャーナリングファイルシステム

ディスクに障害が発生した場合にすぐ復旧できるよう、ファイル更新履歴のバックアップをとっておく機能を持ったファイルシステム。

ファイアウォール

ネットワークへ外部から侵入されるのを防ぐ機能。WindowsXP や一部のウィルス対策ソフト (トレンドマイクロ社ウィルスバスターなど) に付属している。

ワークグループ

小規模な Windows ネットワークに存在するグループ。大規模な運用には向かない。ワークグループ内でファイルやプリンタの共有を行なうことができる。Microsoft は、Windows にこのワークグループネットワーク機能を標準で搭載している。